

## Ⅱ 第一種及び第二種事業所調査結果の概要（事業所規模5人以上）

### 1 概況

平成26年の常用労働者数5人以上の事業所の賃金、労働時間及び雇用の概況は、次のとおりである。

(1) 一人平均月間現金給与総額は254,237円で、前年に比べ0.6%減となった。

このうち、定期給与は217,484円で、前年に比べ0.4%減となった。

(2) 一人平均月間総実労働時間は155.1時間で、前年に比べ0.8%増となった。このうち、所定内労働時間は145.7時間で、前年に比べ0.3%増、所定外労働時間は9.4時間で前年に比べ8.4%増となった。

(3) 一人平均月間出勤日数は20.4で、前年に比べ0.1日増となった。

(4) 月間平均常用労働者数は387,624人で、前年に比べ0.9%減となった。

※以降、一人平均月間の賃金、労働時間、出勤日数と月間平均の常用労働者数を表す。

表1 平成26年毎月勤労統計調査結果の概要（事業所規模5人以上）

区 分	青 森 県		全 国		水 準 全国=100
	実 数	前年比<差>	実 数	前年比<差>	
1 賃金					
現金給与総額	254,237 円	△ 0.6 %	316,567 円	0.8 %	80.3
定期給与	217,484 円	△ 0.4 %	261,029 円	0.3 %	83.3
特別給与	36,753 円	< △ 711 円 >	55,538 円	3.3 %	66.2
2 労働時間数及び出勤日数					
総実労働時間	155.1 時間	0.8 %	145.1 時間	△ 0.3 %	
所定内労働時間数	145.7 時間	0.3 %	134.1 時間	△ 0.6 %	
所定外労働時間数	9.4 時間	8.4 %	11.0 時間	3.8 %	
出勤日数	20.4 日	< 0.1 日 >	18.8 日	< △ 0.1 日 >	
3 雇 用					
労働者数	387,624 人	△ 0.9 %	46,808 千人	1.5 %	
入職率	1.98 %	< 0.02 ポイント >	2.05 %	< △ 0.01 ポイント >	
離職率	1.80 %	< △ 0.29 ポイント >	1.98 %	< △ 0.07 ポイント >	

注) ① < >内は前年差

②前年比は、時系列での比較を可能にするため、指数により算出している。このため、実数で計算した場合と値が異なる場合がある。

## 2 賃 金

### (1) 現金給与総額

現金給与総額は、調査産業計では 254,237 円、前年より 3,065 円減で、前年比 0.6% 減（指数換算、以下同様）となった。全国平均を 100 とした場合、青森県の水準は、調査産業計では 80.3（以下全国対比と表記）となった。

産業別にみると、教育、学習支援業が 438,580 円（全国対比 114.7）と最も高かったほか、次いで複合サービス事業が 347,778 円（全国対比 93.3）、金融業、保険業が 340,742 円（全国対比 73.6）、建設業が 322,694 円（全国対比 85.8）と高かった。また、宿泊業、飲食サービス業が 112,562 円（全国対比 88.5）で最も低かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が 161,915 円（全国対比 75.8）、サービス業（他に分類されないもの）が 170,114 円（全国対比 67.2）と低かった。

### (2) 定期給与（きまって支給する給与）

定期給与は、調査産業計では 217,484 円（全国対比 83.3）、前年より 2,354 円減で、前年比 0.4% 減となった。

産業別にみると、教育、学習支援業が 340,764 円（全国対比 114.8）と最も高かったほか、次いで情報通信業が 285,158 円（全国対比 74.0）、建設業が 282,631 円（全国対比 88.2）、複合サービス事業が 275,978 円（全国対比 95.7）と高かった。また、宿泊業、飲食サービス業が 108,995 円（全国対比 90.9）で最も低かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が 156,522 円（全国対比 81.2）、サービス業（他に分類されないもの）が 158,851 円（全国対比 72.2）と低かった。

### (3) 特別給与

特別給与は、調査産業計で 36,753 円（全国対比 66.2）、前年より 711 円減となった。

産業別にみると、教育、学習支援業が 97,816 円（全国対比 114.5）で最も高かったほか、次いで複合サービス事業が 71,800 円（全国対比 85.0）、金融業、保険業が 70,538 円（全国対比 63.0）と高かった。また、宿泊業、飲食サービス業が 3,567 円（全国対比 48.9）で最も低かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が 5,393 円（全国対比 25.8）、サービス業（他に分類されないもの）が 11,263 円（全国対比 34.3）と低かった。

表2 給与の推移(事業所規模5人以上)

区 分		現金給与総額		定期給与		特別給与		賃金水準(全国=100)		
		青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国	給与総額	定期給与	特別給与
実 額	平成18年	268,954	335,774	227,602	272,614	41,352	63,160	80.1	83.5	65.5
	平成19年	265,028	330,313	225,924	269,508	39,104	60,805	80.2	83.8	64.3
	平成20年	270,324	331,300	227,746	270,511	42,578	60,789	81.6	84.2	70.0
	平成21年	254,409	315,294	219,084	262,357	35,325	52,937	80.7	83.5	66.7
	平成22年	259,231	317,321	221,080	263,245	38,151	54,076	81.7	84.0	70.6
	平成23年	254,469	316,792	218,570	262,373	35,899	54,419	80.3	83.3	66.0
	平成24年	253,142	314,127	217,881	261,585	35,261	52,542	80.6	83.3	67.1
	平成25年	257,302	314,054	219,838	260,353	37,464	53,701	81.9	84.4	69.8
	平成26年	254,237	316,567	217,484	261,029	36,753	55,538	80.3	83.3	66.2

表3 産業別給与の比較(事業所規模5人以上)

区 分	現金給与総額		全国 =100	定期給与		全国 =100	特別給与		全国 =100
	青森県	全 国		青森県	全 国		青森県	全 国	
調査産業計	254,237	316,567	80.3	217,484	261,029	83.3	36,753	55,538	66.2
建設業	322,694	376,179	85.8	282,631	320,466	88.2	40,063	55,713	71.9
製造業	258,794	382,193	67.7	225,004	305,866	73.6	33,790	76,327	44.3
情報通信業	316,197	491,335	64.4	285,158	385,432	74.0	31,039	105,903	29.3
運輸業、郵便業	246,571	340,450	72.4	216,639	287,873	75.3	29,932	52,577	56.9
卸売業、小売業	212,743	274,627	77.5	182,809	228,508	80.0	29,934	46,119	64.9
金融業、保険業	340,742	462,885	73.6	270,204	350,940	77.0	70,538	111,945	63.0
不動産業、物品賃貸業	320,044	363,332	88.1	260,812	293,696	88.8	59,232	69,636	85.1
学術研究・専門・技術サービス業	239,231	449,225	53.3	208,922	357,843	58.4	30,309	91,382	33.2
宿泊業、飲食サービス業	112,562	127,251	88.5	108,995	119,956	90.9	3,567	7,295	48.9
生活関連サービス業・娯楽業	161,915	213,597	75.8	156,522	192,679	81.2	5,393	20,918	25.8
教育、学習支援業	438,580	382,388	114.7	340,764	296,928	114.8	97,816	85,460	114.5
医療、福祉	279,239	293,517	95.1	232,009	246,370	94.2	47,230	47,147	100.2
複合サービス事業	347,778	372,791	93.3	275,978	288,351	95.7	71,800	84,440	85.0
サービス業(他に分類されないもの)	170,114	253,026	67.2	158,851	220,163	72.2	11,263	32,863	34.3

図1 産業別給与の全国対比(全国=100)(事業所規模5人以上)青森県

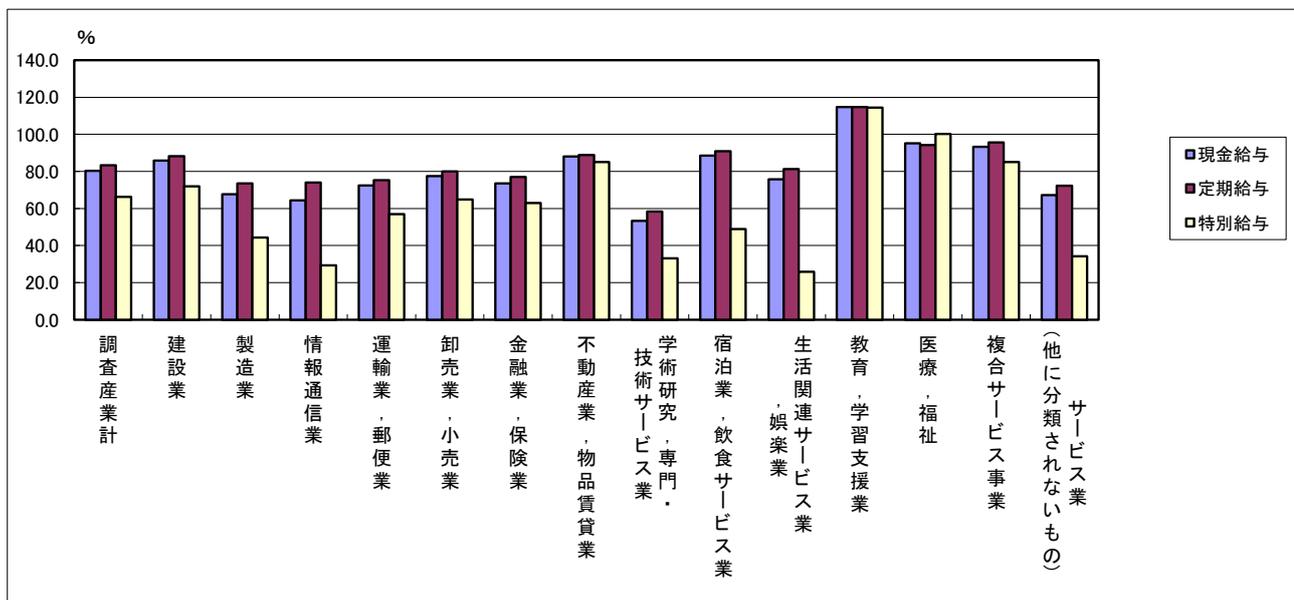
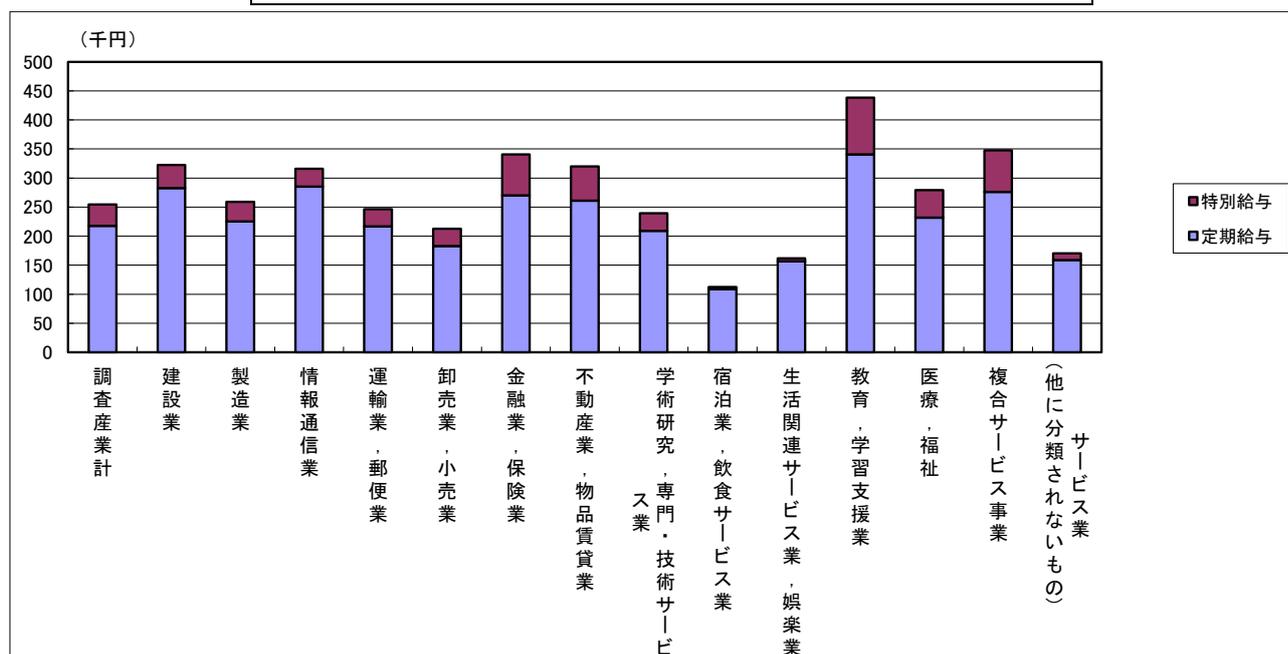


図2 産業別給与の比較（事業所規模5人以上）青森県



※ 特別給与＋定期給与＝現金給与総額

#### (4) 男女別給与

現金給与総額は、調査産業計で男性は311,488円で前年より5,410円減となり、女性は192,693円で前年より382円増となった。男性を100としたときの女性の水準(以下男性比と表記)をみると、調査産業計で61.9と前年より1.2ポイント増となった。

(全国は男性比51.7で前年より0.1ポイント増)

産業別にみると、男性は金融業、保険業が479,150円で最も高かったほか、次いで教育、学習支援業が472,979円と高かった。女性は教育、学習支援業が399,961円(男性比84.6、全国66.7)と最も高かったほか、次いで複合サービス事業が269,656円(男性比69.6、全国59.0)と高かった。

また、男性は宿泊業、飲食サービス業が141,190円で最も低かったほか、次いでサービス業(他に分類されないもの)が214,820円と低かった。女性は宿泊業、飲食サービス業が93,165円(男性比66.0、全国54.3)で最も低かったほか、次いでサービス業(他に分類されないもの)が109,739円(男性比51.1、全国52.5)と低かった。

男性比が最も大きい産業は、教育、学習支援業が84.6(全国66.7)で、次いで複合サービス事業が69.6(全国59.0)と大きかった。男性比が最も小さい産業は、学術研究、専門・技術サービス業が47.1(全国56.5)で、次いで製造業が48.2(全国48.4)と小さかった。

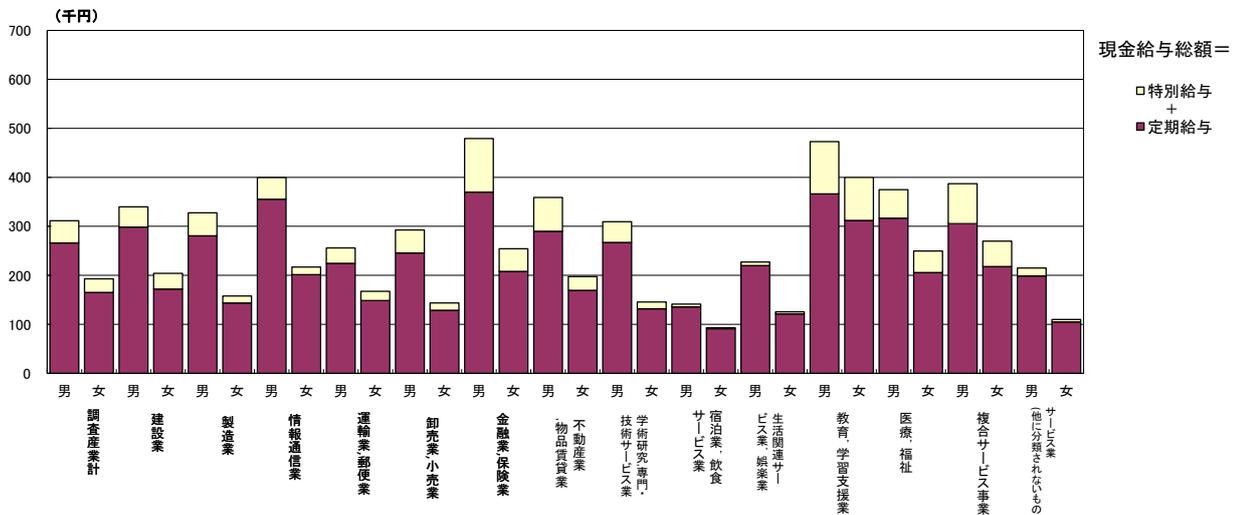
表4 産業別・男女別給与(事業所規模5人以上) 青森県

区 分	現金給与総額		女性の水準 (男=100)	定期給与		女性の水準 (男=100)	特別給与		女性の水準 (男=100)
	男	女		男	女		男	女	
	円	円		円	円		円	円	
調査産業計	311,488	192,693	61.9	266,190	165,125	62.0	45,298	27,568	60.9
建設業	339,874	203,866	60.0	298,629	171,981	57.6	41,245	31,885	77.3
製造業	327,548	157,894	48.2	280,512	143,544	51.2	47,036	14,350	30.5
情報通信業	399,491	216,795	54.3	355,373	201,364	56.7	44,118	15,431	35.0
運輸業,郵便業	255,744	167,479	65.5	224,547	148,455	66.1	31,197	19,024	61.0
卸売業,小売業	292,653	143,711	49.1	245,523	128,632	52.4	47,130	15,079	32.0
金融業,保険業	479,150	254,231	53.1	369,820	207,940	56.2	109,330	46,291	42.3
不動産業,物品賃貸業	358,944	197,518	55.0	289,888	169,231	58.4	69,056	28,287	41.0
学術研究,専門・技術サービス業	309,468	145,666	47.1	266,961	131,606	49.3	42,507	14,060	33.1
宿泊業,飲食サービス業	141,190	93,165	66.0	135,747	90,869	66.9	5,443	2,296	42.2
生活関連サービス業,娯楽業	227,293	125,281	55.1	219,983	120,962	55.0	7,310	4,319	59.1
教育,学習支援業	472,979	399,961	84.6	366,364	312,023	85.2	106,615	87,938	82.5
医療,福祉	374,908	249,635	66.6	316,734	205,791	65.0	58,174	43,844	75.4
複合サービス事業	387,203	269,656	69.6	305,355	217,766	71.3	81,848	51,890	63.4
サービス業(他に分類されないもの)	214,820	109,739	51.1	198,703	105,030	52.9	16,117	4,709	29.2

表5 産業別・男女別給与(事業所規模5人以上) 全国

区 分	現金給与総額		女性の水準 (男=100)	定期給与		女性の水準 (男=100)	特別給与		女性の水準 (男=100)
	男	女		男	女		男	女	
	円	円		円	円		円	円	
調査産業計	404,424	209,155	51.7	328,976	177,958	54.1	75,448	31,197	41.3
鉱業	380,673	260,419	68.4	312,657	212,669	68.0	68,016	47,750	70.2
建設業	401,811	239,968	59.7	342,000	206,032	60.2	59,811	33,936	56.7
製造業	448,487	216,898	48.4	355,009	183,334	51.6	93,478	33,564	35.9
電気・ガス業	564,558	361,854	64.1	454,897	292,550	64.3	109,661	69,304	63.2
情報通信業	545,606	337,219	61.8	425,415	271,891	63.9	120,191	65,328	54.4
運輸業,郵便業	374,505	197,874	52.8	315,892	170,570	54.0	58,613	27,304	46.6
卸売業,小売業	380,487	168,921	44.4	309,087	148,046	47.9	71,400	20,875	29.2
金融業,保険業	657,291	301,311	45.8	484,692	239,777	49.5	172,599	61,534	35.7
不動産業,物品賃貸業	426,959	241,746	56.6	342,318	200,784	58.7	84,641	40,962	48.4
学術研究,専門・技術サービス業	521,341	294,663	56.5	411,035	243,840	59.3	110,306	50,823	46.1
宿泊業,飲食サービス業	175,922	95,580	54.3	162,771	92,096	56.6	13,151	3,484	26.5
生活関連サービス業,娯楽業	274,958	166,312	60.5	242,593	154,215	63.6	32,365	12,097	37.4
教育,学習支援業	464,098	309,687	66.7	356,577	243,856	68.4	107,521	65,831	61.2
医療,福祉	412,520	254,979	61.8	349,655	212,922	60.9	62,865	42,057	66.9
複合サービス事業	453,330	267,383	59.0	347,323	211,170	60.8	106,007	56,213	53.0
サービス業(他に分類されないもの)	322,241	169,077	52.5	274,793	153,904	56.0	47,448	15,173	32.0

図3 産業別、男女別給与の比較(事業所規模5人以上) 青森県



### 3 労働時間と出勤日数

#### (1) 労働時間

##### ア 総実労働時間

総実労働時間は、調査産業計では155.1時間、前年より0.7時間増で、前年比0.8%増となり、全国の145.1時間より10.0時間長かった。

産業別では、建設業が180.2時間（全国173.2時間）と最も長かったほか、次いで不動産業、物品賃貸業が176.1時間（全国153.9時間）、運輸業、郵便業が170.6時間（全国173.5時間）と長かった。また、宿泊業、飲食サービス業が125.8時間（全国102.8時間）と最も短かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が142.3時間（全国138.2時間）、学術研究、専門・技術サービス業が144.9時間（全国157.8時間）と短かった。

##### イ 所定内労働時間

所定内労働時間は、調査産業計では145.7時間、前年より0.3時間増で前年比0.3%の増となり、全国の134.1時間より11.6時間長かった。

産業別では、建設業が163.8時間（全国159.8時間）と最も長かったほか、次いで不動産業、物品賃貸業が159.2時間（全国142.3時間）、運輸業、郵便業が153.2時間（全国148.1時間）と長かった。また、宿泊業、飲食サービス業が122.6時間（全国97.5時間）と最も短かったほか、次いで学術研究、専門・技術サービス業が133.4時間（全国143.0時間）、生活関連サービス業、娯楽業が139.0時間（全国130.9時間）と短かった。

##### ウ 所定外労働時間

所定外労働時間は、調査産業計では9.4時間、前年より0.4時間増で、前年比8.4%増となり、全国の11.0時間より1.6時間短かった。

産業別では、運輸業、郵便業が17.4時間（全国25.4時間）と最も長かったほか、次いで不動産業、物品賃貸業が16.9時間（全国11.6時間）、建設業が16.4時間（全国13.4時間）と長かった。また、宿泊業、飲食サービス業が3.2時間（全国5.3時間）で最も短かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が3.3時間（全国7.3時間）、教育、学習支援業が4.3時間（全国6.6時間）と短かった。

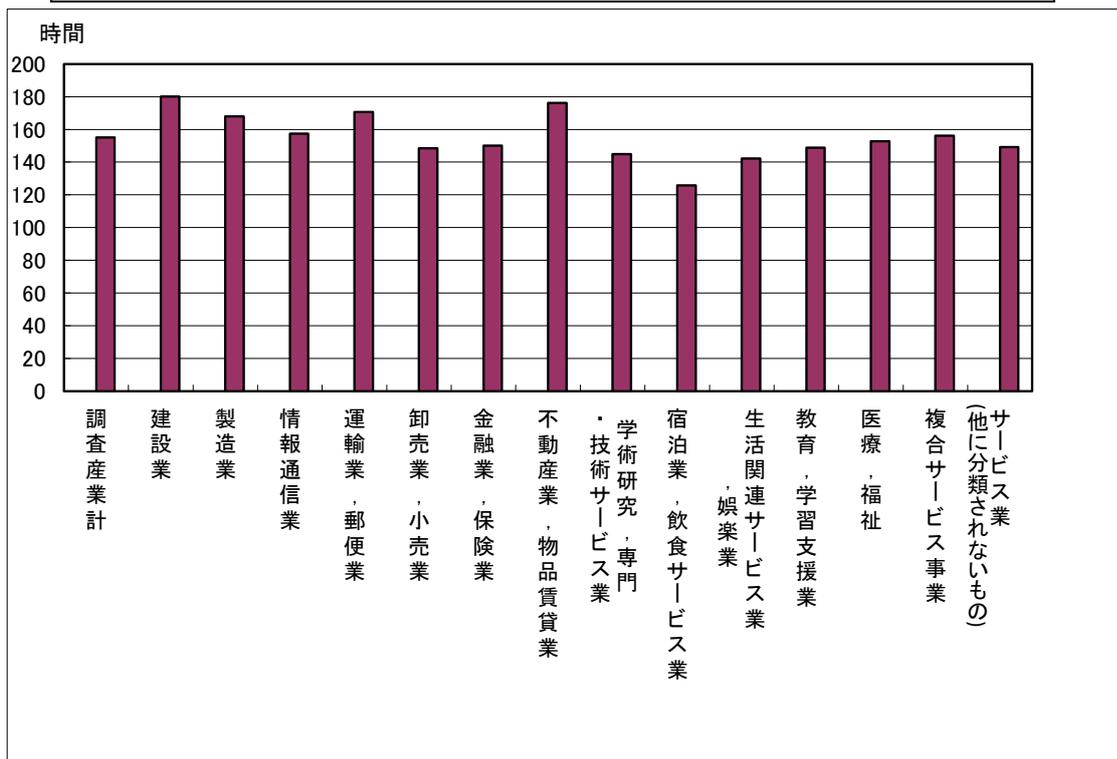
表6 労働時間数の推移(事業所規模5人以上)

区 分		総実労働時間数		所定内労働時間数		所定外労働時間数		青森県一全国		
		青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国	総 実	所定内	所定外
		時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
実 数	平成18年	159.3	150.9	150.5	140.2	8.8	10.7	8.4	10.3	△ 1.9
	平成19年	157.5	150.7	147.3	139.7	10.2	11.0	6.8	7.6	△ 0.8
	平成20年	155.0	149.3	145.4	138.6	9.6	10.7	5.7	6.8	△ 1.1
	平成21年	154.2	144.4	146.0	135.2	8.2	9.2	9.8	10.8	△ 1.0
	平成22年	154.6	146.2	145.4	136.2	9.2	10.0	8.4	9.2	△ 0.8
	平成23年	154.8	145.6	145.4	135.6	9.4	10.0	9.2	9.8	△ 0.6
	平成24年	155.0	147.1	145.7	136.7	9.3	10.4	7.9	9.0	△ 1.1
	平成25年	154.4	145.5	145.4	134.9	9.0	10.6	8.9	10.5	△ 1.6
	平成26年	155.1	145.1	145.7	134.1	9.4	11.0	10.0	11.6	△ 1.6

表7 産業別月間労働時間の全国対比(事業所規模5人以上)

区 分	総実労働時間数			所定内労働時間数			所定外労働時間数		
	青森県	全 国	青森-全国	青森県	全 国	青森-全国	青森県	全 国	青森-全国
	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
調査産業計	155.1	145.1	10.0	145.7	134.1	11.6	9.4	11.0	△ 1.6
建設業	180.2	173.2	7.0	163.8	159.8	4.0	16.4	13.4	3.0
製造業	168.0	163.2	4.8	151.7	147.3	4.4	16.3	15.9	0.4
情報通信業	157.4	163.6	△ 6.2	144.7	144.8	△ 0.1	12.7	18.8	△ 6.1
運輸業,郵便業	170.6	173.5	△ 2.9	153.2	148.1	5.1	17.4	25.4	△ 8.0
卸売業,小売業	148.5	138.0	10.5	140.8	130.7	10.1	7.7	7.3	0.4
金融業,保険業	150.0	147.4	2.6	141.2	135.3	5.9	8.8	12.1	△ 3.3
不動産業,物品賃貸業	176.1	153.9	22.2	159.2	142.3	16.9	16.9	11.6	5.3
学術研究,専門・技術サービス業	144.9	157.8	△ 12.9	133.4	143.0	△ 9.6	11.5	14.8	△ 3.3
宿泊業,飲食サービス業	125.8	102.8	23.0	122.6	97.5	25.1	3.2	5.3	△ 2.1
生活関連サービス業,娯楽業	142.3	138.2	4.1	139.0	130.9	8.1	3.3	7.3	△ 4.0
教育,学習支援業	148.9	126.6	22.3	144.6	120.0	24.6	4.3	6.6	△ 2.3
医療,福祉	152.7	135.1	17.6	148.2	129.9	18.3	4.5	5.2	△ 0.7
複合サービス事業	156.1	148.6	7.5	149.4	141.3	8.1	6.7	7.3	△ 0.6
サービス業(他に分類されないもの)	149.1	143.8	5.3	139.7	132.6	7.1	9.4	11.2	△ 1.8

図4 総実労働時間数の産業別比較(事業所規模5人以上) 青森県



(2) 出勤日数

出勤日数は、調査産業計では20.4日、前年に比べ0.1日増となり、全国の18.8日より1.6日多かった。

産業別では、建設業が22.3日（全国21.2日）と最も多かったほか、次いで不動産業、物品賃貸業が21.8日（全国19.4日）、生活関連サービス業、娯楽業が21.2日（全国18.7日）と多かった。また、学術研究、専門・技術サービス業が18.3日（全国19.1日）と最も少なかったほか、次いで教育、学習支援業が19.0日（全国17.1日）、宿泊業、飲食サービス業が19.1日（全国15.9日）と少なかった。

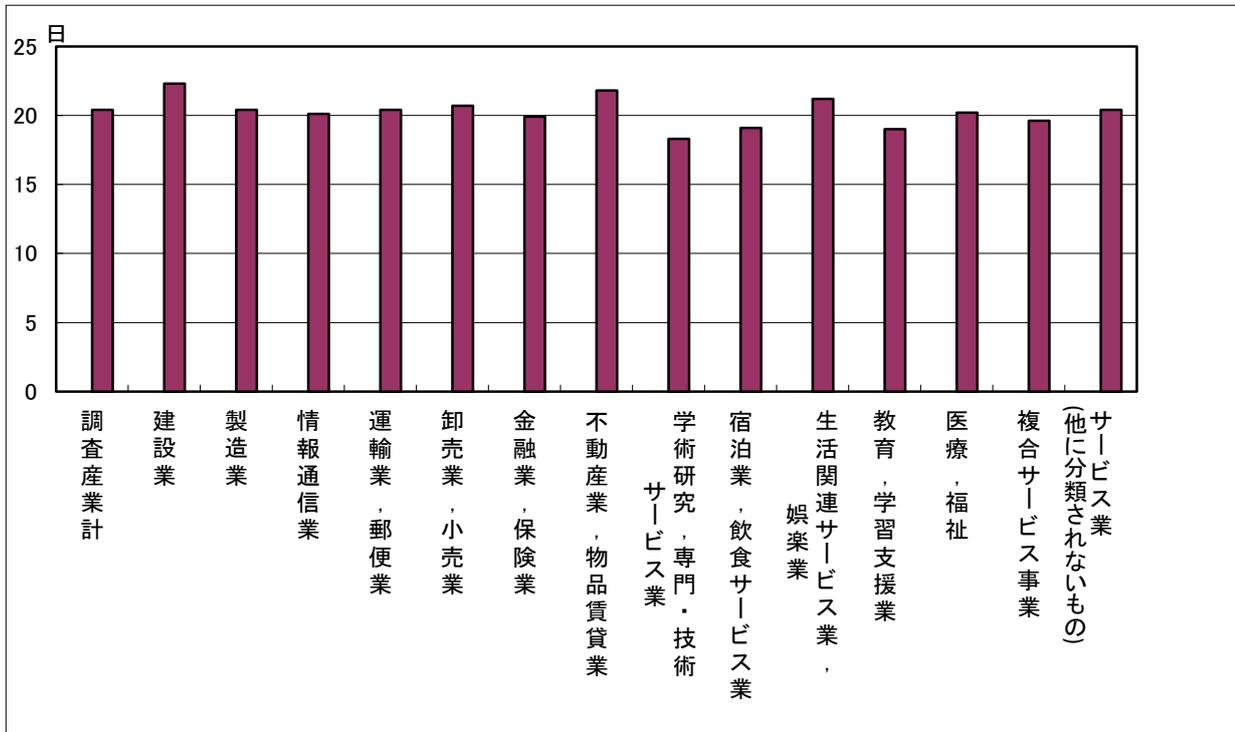
表8 出勤日数の推移(事業所規模5人以上)

区 分		出勤日数		
		青 森 県	全 国	青森-全国
		日	日	日
実 数	平成18年	21.0	19.5	1.5
	平成19年	20.8	19.4	1.4
	平成20年	20.5	19.3	1.2
	平成21年	20.4	18.9	1.5
	平成22年	20.6	19.0	1.6
	平成23年	20.5	19.0	1.5
	平成24年	20.5	19.1	1.4
	平成25年	20.3	18.9	1.4
	平成26年	20.4	18.8	1.6

表9 産業別月出勤日数の動き(事業所規模5人以上)

区 分	青 森 県		全 国	
	出勤日数	前年 増減差	出勤日数	前年 増減差
	日	日	日	日
調 査 産 業 計	20.4	0.1	18.8	△ 0.1
建 設 業	22.3	0.2	21.2	0.0
製 造 業	20.4	0.4	19.5	0.0
情 報 通 信 業	20.1	△ 0.2	19.1	0.0
運 輸 業 , 郵 便 業	20.4	△ 0.2	20.2	0.0
卸 売 業 , 小 売 業	20.7	0.0	19.0	△ 0.1
金 融 業 , 保 険 業	19.9	0.6	18.6	△ 0.2
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	21.8	0.3	19.4	△ 0.1
学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	18.3	0.4	19.1	△ 0.2
宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	19.1	△ 0.1	15.9	△ 0.2
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 , 娯 楽 業	21.2	0.7	18.7	△ 0.4
教 育 , 学 習 支 援 業	19.0	0.1	17.1	0.0
医 療 , 福 祉	20.2	△ 0.1	18.4	0.0
複 合 サ ー ビ ス 事 業	19.6	△ 0.3	18.9	0.0
サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	20.4	0.0	18.8	△ 0.1

図5 出勤日数の産業別比較（事業所規模5人以上）青森県



### (3) 男女別労働時間

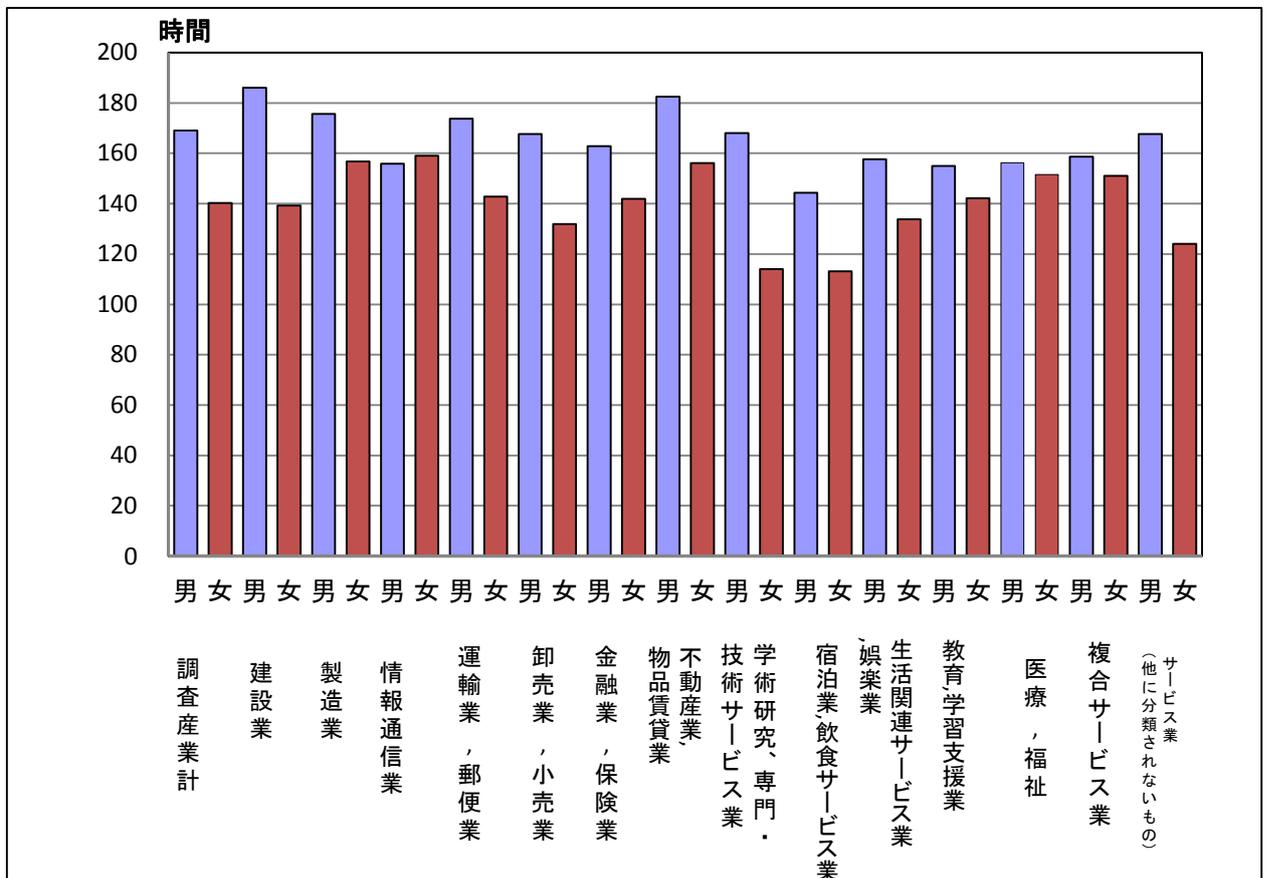
総実労働時間は、調査産業計では男性が169.0時間で前年に比べ1.1時間増で、女性は140.3時間と前年に比べ0.6時間増となった。男性を100としたときの女性の水準（以下男性比と表記）をみると、調査産業計で83.0と前年に比べ0.2ポイント減となった。（全国は男性比77.7で前年より0.5ポイント減となった）

産業別にみると、男性は建設業が186.1時間と最も長かったほか、次いで不動産業、物品賃貸業が182.5時間、製造業が175.6時間と長かった。女性は情報通信業が159.1時間（男性比102.1、全国88.1）と最も長かったほか、次いで製造業が156.7時間（男性比89.2、全国84.3）、不動産業、物品賃貸業が156.1時間（男性比85.5、全国84.3）と長かった。また、男性は宿泊業、飲食サービス業が144.3時間と最も短かったほか、次いで教育、学習支援業が155.0時間、情報通信業が155.9時間と短かった。女性は宿泊業、飲食サービス業が113.1時間（男性比78.4、全国74.3）と最も短かったほか、次いで、学術研究、専門・技術サービス業が114.0時間（男性比67.8、全国84.6）、サービス業（他に分類されないもの）が124.1時間（男性比74.0、全国77.2）と短かった。

表10 産業及び男女別総実労働時間(事業所規模5人以上)

区 分	総 実 労 働 時 間					
	青森県		女性の 水準 (男=100)	全国		女性の 水準 (男=100)
	男	女		男	女	
	時間	時間		時間	時間	
調 査 産 業 計	169.0	140.3	83.0	161.2	125.3	77.7
建 設 業	186.1	139.2	74.8	177.9	147.6	83.0
製 造 業	175.6	156.7	89.2	170.9	144.0	84.3
情 報 通 信 業	155.9	159.1	102.1	168.9	148.8	88.1
運 輸 業 , 郵 便 業	173.8	142.8	82.2	182.7	134.6	73.7
卸 売 業 , 小 売 業	167.7	131.9	78.7	155.9	120.0	77.0
金 融 業 , 保 険 業	162.8	141.9	87.2	161.5	135.8	84.1
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	182.5	156.1	85.5	162.7	137.2	84.3
学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	168.1	114.0	67.8	166.0	140.5	84.6
宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	144.3	113.1	78.4	121.8	90.5	74.3
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 , 娛 楽 業	157.7	133.8	84.8	150.7	128.4	85.2
教 育 , 学 習 支 援 業	155.0	142.2	91.7	132.5	121.3	91.5
医 療 , 福 祉	156.2	151.6	97.1	145.7	131.6	90.3
複 合 サ ー ビ ス 事 業	158.7	151.1	95.2	156.2	138.5	88.7
サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	167.7	124.1	74.0	160.3	123.7	77.2

図6 産業及び男女別の総実労働時間比較(事業所規模5人以上)青森県



## 4 常用労働者の動き

### (1) 雇用について

常用労働者数は、調査産業計では387,624人（男200,795人、女186,828人）で、前年より3,405人減、前年比0.9%減（全国1.5%増）となった。

産業別では、卸売業、小売業が75,733人（全産業に占める割合19.5%、全国18.6%）と最も多かったほか、次いで医療、福祉が73,311人（同18.9%、全国13.4%）、製造業が51,196人（同13.2%、全国17.1%）と多かった。また、不動産業、物品賃貸業が2,618人（同0.7%、全国1.5%）と最も少なかったほか、次いで情報通信業が5,049人（同1.3%、全国3.2%）、複合サービス事業が5,144人（同1.3%、全国0.7%）と少なかった。

男女別構成比をみると、男性の占める割合が最も高い産業は運輸業、郵便業が89.6%（全国80.7%）で、次いで建設業が87.4%（全国84.1%）、不動産業、物品賃貸業が75.9%（全国65.6%）と高かった。また、女性の占める割合が最も高い産業は医療、福祉が76.3%（全国75.5%）、次いで生活関連サービス業、娯楽業の64.0%（全国56.5%）、金融業、保険業が61.6%（全国54.6%）と高かった。

表11 産業別・男女別常用労働者数及び産業別・男女別構成比(事業所規模5人以上) 青森県

	常用労働者数(人)			産業別構成比(%)			男女別構成比(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
調査産業計	387,624	200,795	186,828	100.0	100.0	100.0	51.8	48.2
建設業	34,194	29,880	4,314	8.8	14.9	2.3	87.4	12.6
製造業	51,196	30,431	20,765	13.2	15.2	11.1	59.4	40.6
情報通信業	5,049	2,738	2,311	1.3	1.4	1.2	54.2	45.8
運輸業,郵便業	29,340	26,287	3,053	7.6	13.1	1.6	89.6	10.4
卸売業,小売業	75,733	35,125	40,609	19.5	17.5	21.7	46.4	53.6
金融業,保険業	13,300	5,110	8,190	3.4	2.5	4.4	38.4	61.6
不動産業,物品賃貸業	2,618	1,986	633	0.7	1.0	0.3	75.9	24.2
学術研究,専門・技術サービス業	6,356	3,630	2,727	1.6	1.8	1.5	57.1	42.9
宿泊業,飲食サービス業	25,792	10,334	15,459	6.7	5.1	8.3	40.1	59.9
生活関連サービス業,娯楽業	13,529	4,869	8,660	3.5	2.4	4.6	36.0	64.0
教育,学習支援業	21,221	11,224	9,997	5.5	5.6	5.4	52.9	47.1
医療,福祉	73,311	17,355	55,957	18.9	8.6	30.0	23.7	76.3
複合サービス事業	5,144	3,419	1,725	1.3	1.7	0.9	66.5	33.5
サービス業(他に分類されないもの)	28,417	16,318	12,101	7.3	8.1	6.5	57.4	42.6

表12 産業別・男女別常用労働者数及び産業別・男女別構成比(事業所規模5人以上) 全国

区 分	常用労働者数(千人)			産業別構成比(%)			男女別構成比(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
調査産業計	46,808	25,742	21,066	100.0	100.0	100.0	55.0	45.0
鉱業	23	19	3	0.0	0.1	0.0	82.6	13.0
建設業	2,724	2,292	432	5.8	8.9	2.1	84.1	15.9
製造業	7,991	5,703	2,288	17.1	22.2	10.9	71.4	28.6
電気・ガス業	280	243	37	0.6	0.9	0.2	86.8	13.2
情報通信業	1,475	1,091	385	3.2	4.2	1.8	74.0	26.1
運輸業,郵便業	3,225	2,603	622	6.9	10.1	3.0	80.7	19.3
卸売業,小売業	8,708	4,351	4,357	18.6	16.9	20.7	50.0	50.0
金融業,保険業	1,414	642	772	3.0	2.5	3.7	45.4	54.6
不動産業,物品賃貸業	707	464	243	1.5	1.8	1.2	65.6	34.4
学術研究,専門・技術サービス業	1,323	902	421	2.8	3.5	2.0	68.2	31.8
宿泊業,飲食サービス業	4,187	1,650	2,537	8.9	6.4	12.0	39.4	60.6
生活関連サービス業,娯楽業	1,697	738	959	3.6	2.9	4.6	43.5	56.5
教育,学習支援業	2,841	1,337	1,504	6.1	5.2	7.1	47.1	52.9
医療,福祉	6,249	1,529	4,720	13.4	5.9	22.4	24.5	75.5
複合サービス事業	337	191	146	0.7	0.7	0.7	56.7	43.3
サービス業(他に分類されないもの)	3,627	1,987	1,639	7.7	7.7	7.8	54.8	45.2

図7 常用労働者の産業別女性の割合(事業所規模5人以上) 青森県

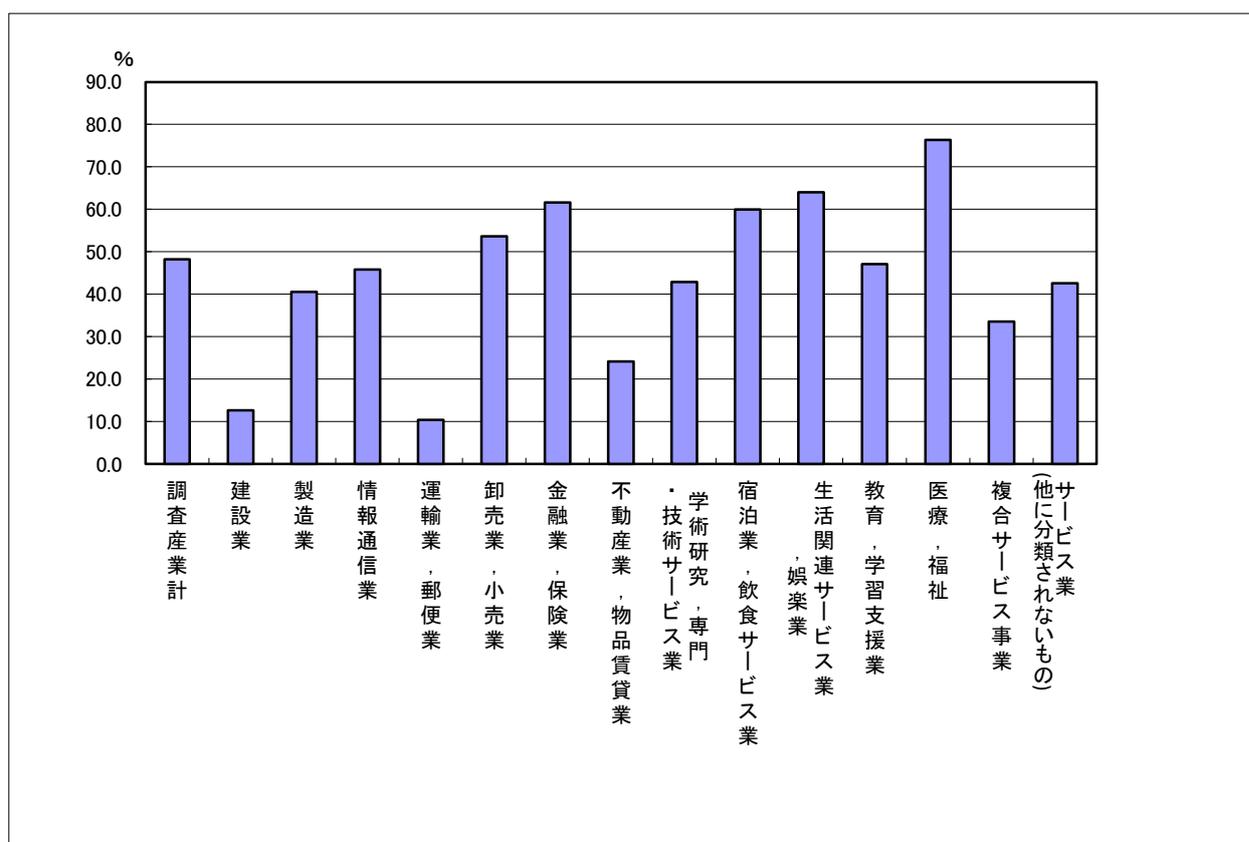


図8 常用労働者の産業別構成比（総数）（事業所規模5人以上）青森県

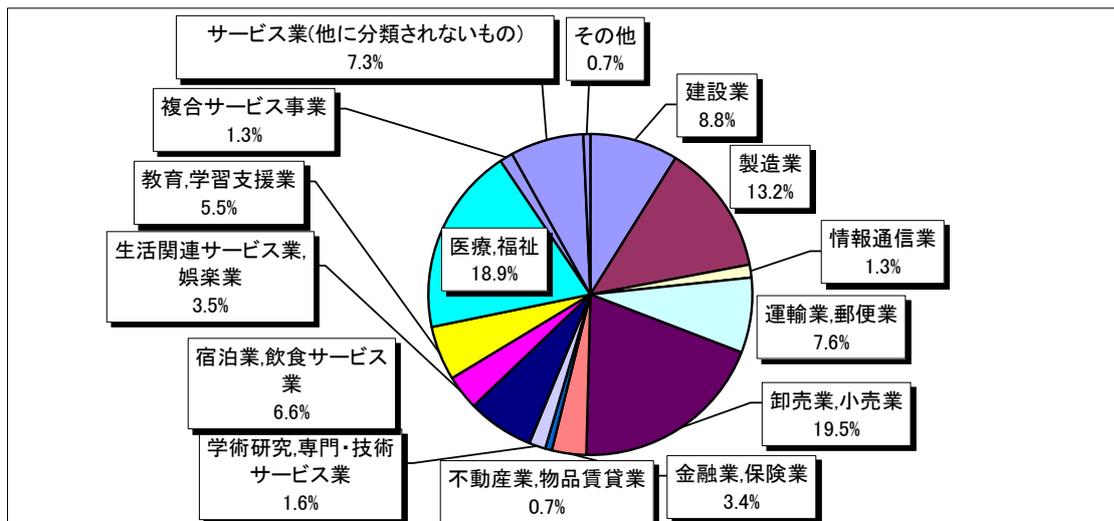


図9 常用労働者の産業別構成比（男）（事業所規模5人以上）青森県

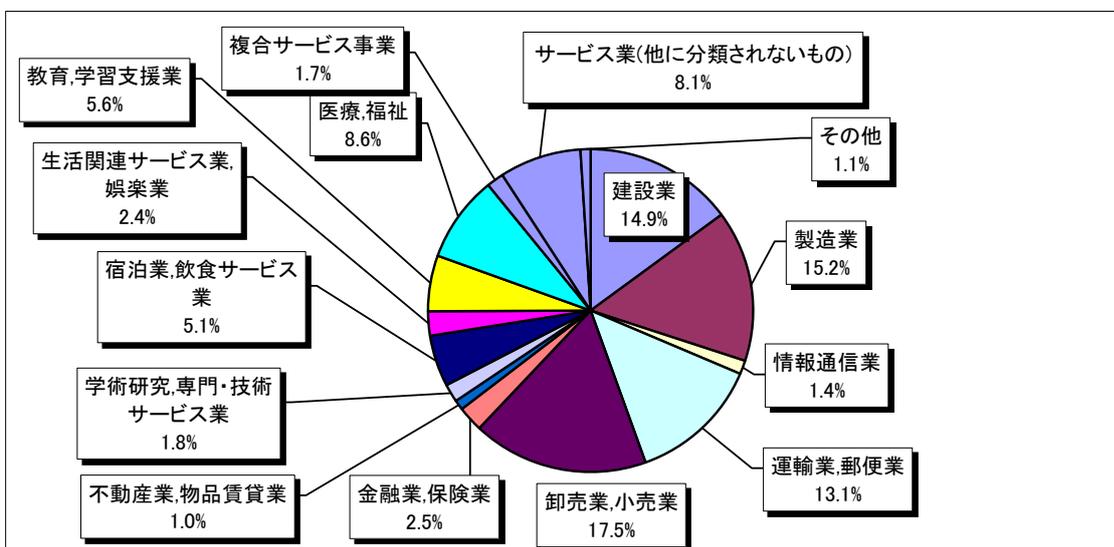
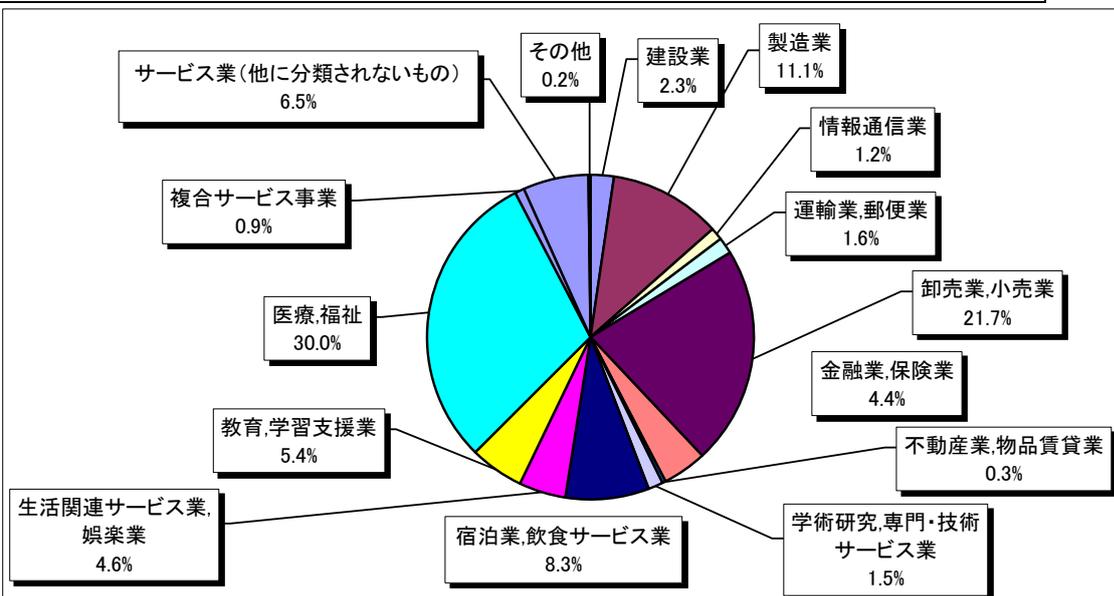


図10 常用労働者の産業別構成比（女）（事業所規模5人以上）青森県



(2) 労働異動について

常用労働者の異動状況をみると、調査産業計では入職率 1.98%（全国 2.05%）に対し離職率は 1.80%（全国 1.98%）で、入職率が 0.18 ポイント上回った。

産業別にみると、入職率では宿泊業、飲食サービス業が 5.46%（全国 4.30%）と最も高く、次いで学術研究、専門・技術サービス業が 4.51%（全国 1.62%）、建設業が 2.92%（全国 1.42%）と高かった。離職率では学術研究、専門・技術サービス業が 4.10%（全国 1.53%）と最も高く、次いで宿泊業、飲食サービス業が 4.052%（全国 4.07%）、建設業が 2.37%（全国 1.36%）と高かった。

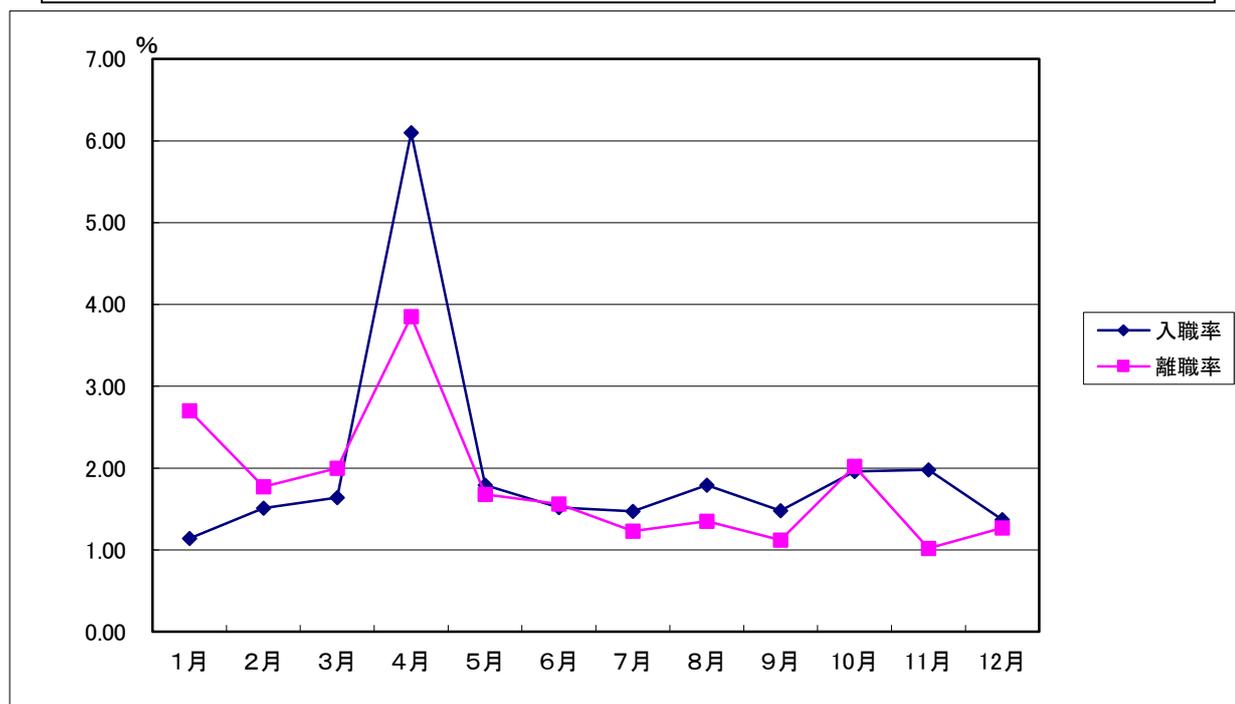
入職率と離職率の差を比較すると、入職率が離職率を上回った産業では、宿泊業、飲食サービス業が 1.41 ポイントと最も高かったほか、次いで情報通信業が 0.94 ポイント、複合サービス事業が 0.71 ポイント上回った。離職率が入職率を上回った産業では、製造業が 0.07 と最も高かったほか、次いで卸売業、小売業が 0.06 ポイント、生活関連サービス業、娯楽業が 0.03 ポイント上回った。

表13 雇用及び労働異動率(事業所規模5人以上)

区 分	入 職 率		離 職 率		入職率－離職率	
	青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国
	%	%	%	%	ポイント	ポイント
調 査 産 業 計	1.98	2.05	1.80	1.98	0.18	0.07
建 設 業	2.92	1.42	2.37	1.36	0.55	0.06
製 造 業	1.15	1.19	1.22	1.21	△ 0.07	△ 0.02
情 報 通 信 業	2.17	1.52	1.23	1.42	0.94	0.10
運 輸 業 , 郵 便 業	2.14	1.71	1.52	1.60	0.62	0.11
卸 売 業 , 小 売 業	1.38	1.99	1.44	1.99	△ 0.06	0.00
金 融 業 , 保 険 業	1.81	1.87	1.81	1.86	0.00	0.01
不 動 産 業 , 物 品 質 貸 業	1.38	2.16	1.28	2.10	0.10	0.06
学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	4.51	1.62	4.10	1.53	0.41	0.09
宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	5.46	4.30	4.05	4.07	1.41	0.23
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 , 娯 楽 業	2.00	3.10	2.03	3.01	△ 0.03	0.09
教 育 , 学 習 支 援 業	1.24	2.38	1.23	2.30	0.01	0.08
医 療 , 福 祉	1.44	1.85	1.43	1.72	0.01	0.13
複 合 サ ー ビ ス 事 業	1.66	1.74	0.95	1.77	0.71	△ 0.03
サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	2.38	2.43	2.29	2.28	0.09	0.15

注) 入(離)職率=当月入(離)職者数÷前月末労働者数×100

図 11 1年間の労働異動率の推移（事業所規模5人以上、調査産業計）青森県



(3) 就業形態別の動きについて

常用労働者に占めるパートタイム労働者の割合は、調査産業計では 25.6%で、前年より 0.2 ポイント増（全国 29.82%、前年 0.38 ポイント増）となった。

産業別では、宿泊業、飲食サービス業が 71.6%（全国 76.10%）で最も高かったほか、次いで卸売業、小売業が 43.3%（全国 42.18%）、サービス業（他に分類されないもの）が 39.5%（全国 32.12%）と高かった。また、建設業が 3.2%（全国 5.60%）と最も低かったほか、次いで複合サービス事業が 3.7%（全国 14.34%）、金融業、保険業が 7.3%（全国 13.33%）と低かった。

表 14 パートタイム労働者比率（事業所規模5人以上）

区分	青森県		全国	
	比率	前年差	比率	前年差
	%	ポイント	%	ポイント
調査産業計	25.6	0.2	29.82	0.38
建設業	3.2	0.8	5.60	0.43
製造業	13.3	2.1	13.75	0.39
情報通信業	19.1	7.9	5.60	△ 0.73
運輸業、郵便業	14.1	3.4	19.30	1.33
卸売業、小売業	43.3	0.6	42.18	△ 0.22
金融業、保険業	7.3	△ 3.7	13.33	0.54
不動産業、物品賃貸業	8.9	△ 0.7	21.50	0.43
学術研究、専門・技術サービス業	31.2	15.8	9.79	1.35
宿泊業、飲食サービス業	71.6	△ 5.9	76.10	△ 0.36
生活関連サービス業、娯楽業	36.5	△ 9.9	45.63	1.24
教育、学習支援業	10.3	1.7	28.54	0.41
医療、福祉	17.7	△ 0.7	29.70	△ 0.15
複合サービス事業	3.7	1.5	14.34	△ 1.04
サービス業(他に分類されないもの)	39.5	△ 3.0	32.12	0.54

図12 パートタイム労働者比率の推移（事業所規模5人以上）青森県

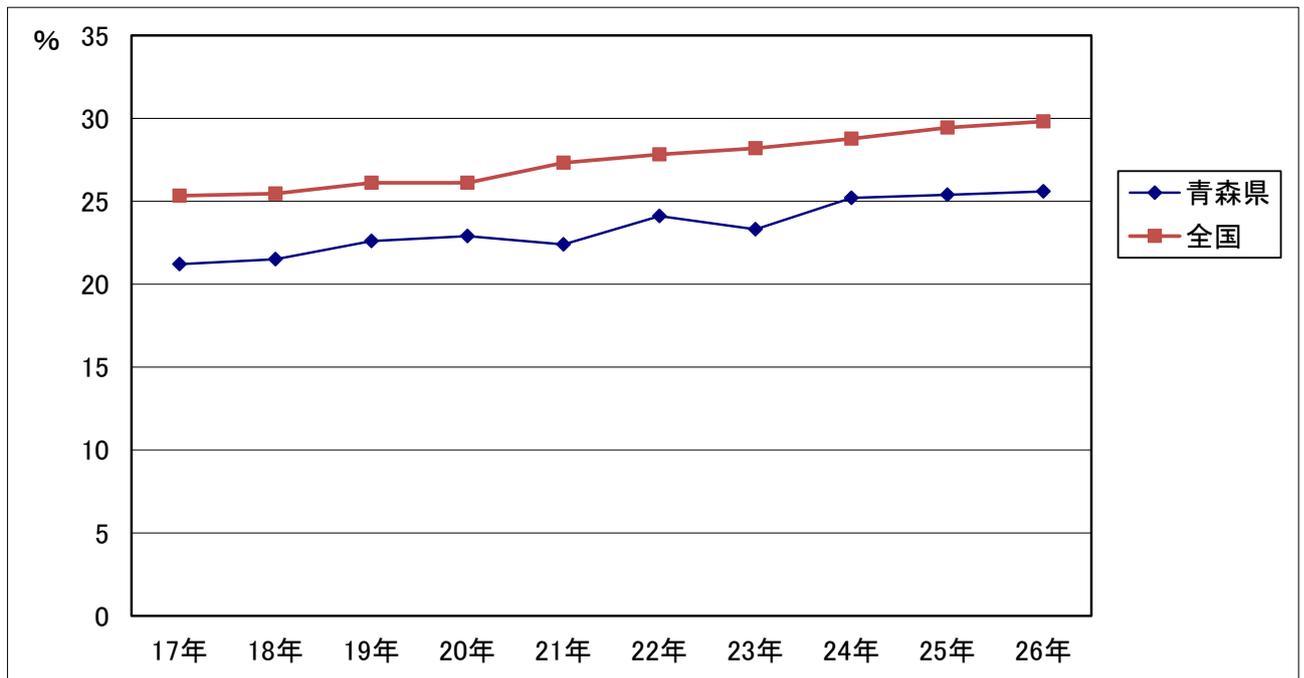


表15 参考:就業形態別の比較(調査産業計、事業所規模5人以上)

	区分	現金給与 総額	定期給与	特別給与	出勤日数	総実労働 時間	所定内労働 時間	所定外労働 時間	常用労働 者数
		円	円	円	日	時間	時間	時間	人
青森県	一般労働者	308,018	259,835	48,183	20.9	170.5	158.8	11.7	288,320
	パートタイム労働者	97,752	94,255	3,497	18.7	110.5	107.6	2.9	99,304
全国	一般労働者	409,796	331,724	78,072	20.2	168.4	154.0	14.4	32,852 (千人)
	パートタイム労働者	96,991	94,526	2,465	15.5	90.3	87.3	3.0	13,956 (千人)

### Ⅲ 第一種事業所調査結果の概要（事業所規模 30 人以上）

#### 1 概況

平成26年の常用労働者数30人以上の事業所の賃金、労働時間及び雇用の概況は、次のとおりである。

(1) 一人平均月間給与総額は267,408円で、指数は前年に比べ0.8%減となった。

このうち、定期給与は225,811円で、前年に比べ0.4%減となった。

(2) 一人平均月間総実労働時間は154.7時間で、前年に比べ1.2%増となった。このうち、所定内労働時間は144.0時間で前年に比べ0.0%、所定外労働時間は10.7時間で前年に比べ16.8%増となった。

(3) 一人平均月間出勤日数は20.2日で、前年に比べ0.1日増となった。

(4) 月間平均常用労働者数は212,897人で、前年に比べ1.6%減となった。

※以降、一人平均月間の賃金、労働時間、出勤日数と月間平均の常用労働者数を表す。

表1 平成26年毎月勤労統計調査結果の概要（事業所規模30人以上）

区 分	青 森 県		全 国		水 準
	実 数	前年比<差>	実 数	前年比<差>	全国=100
1 賃金					
現金給与総額	267,408 円	△ 0.8 %	363,338 円	1.5 %	73.6
定期給与	225,811 円	△ 0.4 %	291,475 円	0.8 %	77.5
特別給与	41,597 円	< △1,366 円 >	71,863 円	4.4 %	57.9
2 労働時間数及び出勤日数					
総実労働時間	154.7 時間	1.2 %	149.0 時間	△ 0.2 %	
所定内労働時間数	144.0 時間	0.0 %	136.2 時間	△ 0.5 %	
所定外労働時間数	10.7 時間	16.8 %	12.8 時間	2.8 %	
出勤日数	20.2 日	< 0.1 日 >	18.9 日	< 0.0 日 >	
3 雇 用					
労働者数	212,897 人	△1.6 %	27,307 千人	0.4 %	
入職率	1.57 %	< △0.08 ポイント >	1.82 %	< △0.04 ポイント >	
離職率	1.55 %	< 0.20 ポイント >	1.80 %	< △0.08 ポイント >	

注) ① < >内は前年差

②前年比は、時系列での比較を可能にするため、指数により算出している。このため、実数で計算した場合と値が異なる場合がある。

## 2 賃 金

(1) 現金給与総額は、調査産業計では 267,408 円、前年より 4,454 円減で、前年比 0.8% 減（指数換算、以下同様）となった。全国平均を 100 とした場合、青森県の水準は、調査産業計では 73.6（以下全国対比と表記）となった。

産業別にみると、教育、学習支援業が 480,116 円（全国対比 109.4）と最も高かったほか、次いで建設業が 433,906 円（全国対比 93.1）、金融業、保険業が 364,930 円（全国対比 73.0）と高かった。また、宿泊業、飲食サービス業が 142,700 円（全国対比 91.5）で最も低かったほか、次いでサービス業（他に分類されないもの）が 150,677 円（全国対比 63.6）、生活関連サービス業、娯楽業が 163,012 円（全国対比 71.3）と低かった。

(2) 定期給与（きまって支給する給与）

定期給与は、調査産業計では 225,811 円（全国対比 77.5）、前年より 3,088 円減で、前年比 0.4%減となった。

産業別にみると、教育、学習支援業が 360,683 円（全国対比 107.2）と最も高かったほか、次いで建設業が 337,370 円（全国対比 90.0）、情報通信業が 310,510 円（全国対比 77.0）と高かった。また、宿泊業、飲食サービス業が 133,728 円（全国対比 93.2）で最も低かったほか、次いでサービス業（他に分類されないもの）が 139,643 円（全国対比 67.6）、生活関連サービス業、娯楽業が 157,610 円（全国対比 78.3）と低かった。

(3) 特別給与

特別給与は、調査産業計では 41,597 円（全国対比 57.9）、前年より 1,366 円減となった。産業別にみると、教育、学習支援業が 119,433 円（全国対比 116.4）と最も高かったほか、次いで建設業が 96,536 円（全国対比 105.8）、金融業、保険業が 77,362 円（全国対比 61.7）と高かった。また、生活関連サービス業、娯楽業が 5,402 円（全国対比 19.7）で最も低かったほか、次いで宿泊業、飲食サービス業が 8,972 円（全国対比 71.2）、サービス業（他に分類されないもの）が 11,034 円（全国対比 36.2）と低かった。

表2 給与の推移(事業所規模30人以上)

区 分		現金給与総額		定期給与		特別給与		賃金水準(全国=100)		
		青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国	給与総額	定期給与	特別給与
実 額	平成18年	円 304,090	円 384,401	円 250,066	円 302,746	円 54,024	円 81,655	79.1	82.6	66.2
	平成19年	288,988	377,731	240,124	299,782	48,864	77,949	76.5	80.1	62.7
	平成20年	287,180	379,497	238,119	300,694	49,061	78,803	75.7	79.2	62.3
	平成21年	266,145	355,223	227,408	288,478	38,737	66,745	74.9	78.8	58.0
	平成22年	270,672	360,276	231,280	291,210	39,392	69,066	75.1	79.4	57.0
	平成23年	271,861	362,296	231,242	291,783	40,619	70,513	75.0	79.3	57.6
	平成24年	267,397	356,649	227,437	289,794	39,960	66,855	75.0	78.5	59.8
	平成25年	271,862	357,977	228,899	289,150	42,963	68,827	75.9	79.2	62.4
平成26年	267,408	363,338	225,811	291,475	41,597	71,863	73.6	77.5	57.9	

表3 産業別給与の比較(事業所規模30人以上)

区 分	現金給与総額		全国 =100	定期給与		全国 =100	特別給与		全国 =100
	青森県	全 国		青森県	全 国		青森県	全 国	
	円	円		円	円		円	円	
調査産業計	267,408	363,338	73.6	225,811	291,475	77.5	41,597	71,863	57.9
建設業	433,906	466,261	93.1	337,370	375,011	90.0	96,536	91,250	105.8
製造業	265,035	418,018	63.4	228,613	326,330	70.1	36,422	91,688	39.7
情報通信業	327,424	526,195	62.2	310,510	403,027	77.0	16,914	123,168	13.7
運輸業、郵便業	254,448	355,921	71.5	219,935	295,348	74.5	34,513	60,573	57.0
卸売業、小売業	198,305	313,547	63.2	167,712	251,325	66.7	30,593	62,222	49.2
金融業、保険業	364,930	500,046	73.0	287,568	374,741	76.7	77,362	125,305	61.7
不動産業、物品賃貸業	302,234	390,940	77.3	241,885	307,499	78.7	60,349	83,441	72.3
学術研究、専門・技術サービス業	293,386	513,566	57.1	248,281	396,067	62.7	45,105	117,499	38.4
宿泊業、飲食サービス業	142,700	156,016	91.5	133,728	143,415	93.2	8,972	12,601	71.2
生活関連サービス業、娯楽業	163,012	228,781	71.3	157,610	201,314	78.3	5,402	27,467	19.7
教育、学習支援業	480,116	438,907	109.4	360,683	336,334	107.2	119,433	102,573	116.4
医療、福祉	300,570	339,600	88.5	253,470	281,576	90.0	47,100	58,024	81.2
複合サービス事業	332,803	384,008	86.7	263,476	296,836	88.8	69,327	87,172	79.5
サービス業(他に分類されないもの)	150,677	236,901	63.6	139,643	206,452	67.6	11,034	30,449	36.2

図1 産業別給与の全国対比(全国=100)(事業所規模30人以上) 青森県

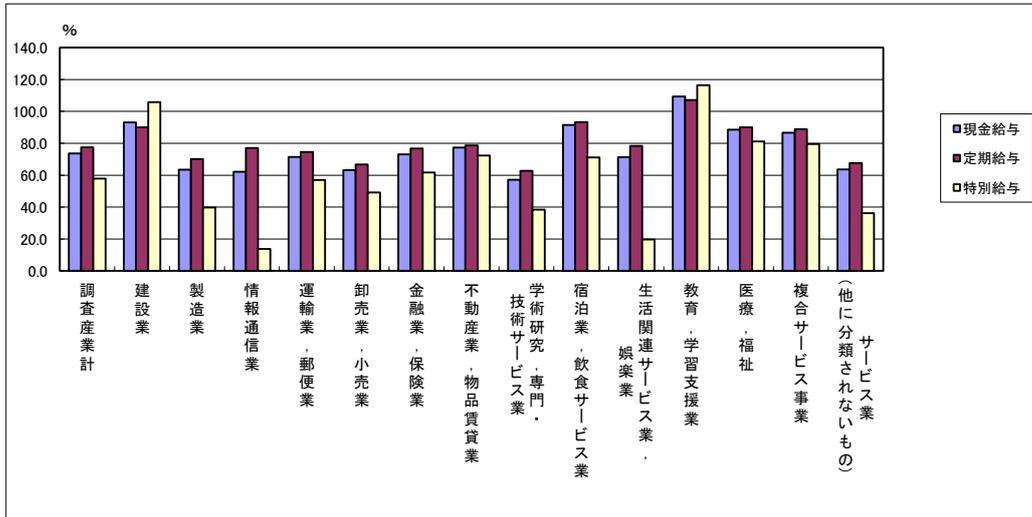
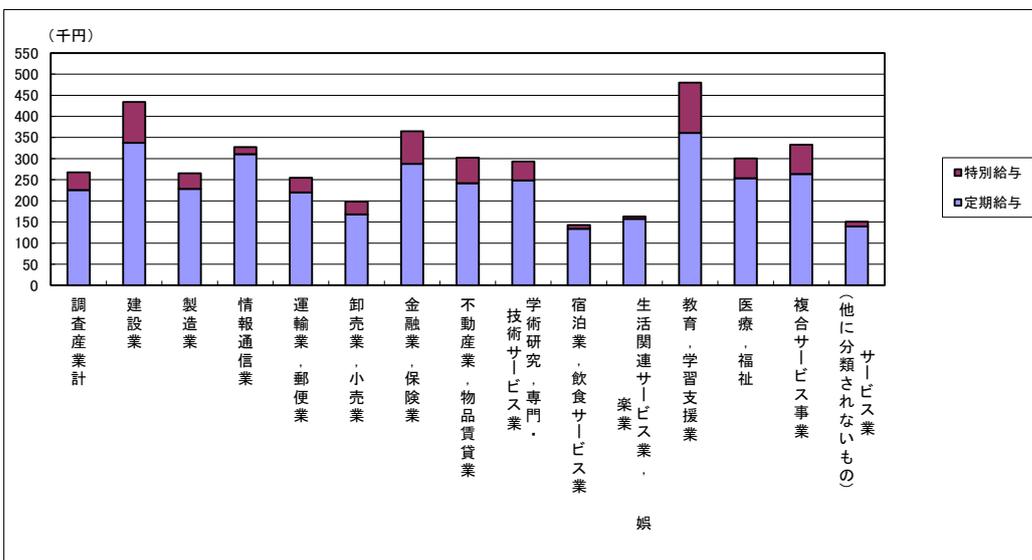


図2 産業別給与の比較(事業所規模30人以上) 青森県



※ 特別給与+定期給与=現金給与総額

(4) 男女別給与

現金給与総額は、調査産業計で男性は335,016円で前年より6,809円減となり、女性は195,798円で前年より1,398円減となった。男性を100としたときの女性の水準をみると、調査産業計で58.4（以下男性比と表記）で前年より0.7ポイント増となった（全国は男性比52.4で前年より0.1ポイント減）。

産業別にみると、男性は金融業、保険業が660,985円と最も高かったほか、次いで教育、学習支援業が476,296円、建設業が453,815円と高かった。女性は教育、学習支援業が491,079円（男性比103.1、全国69.5）と最も高かったほか、次いで建設業が310,942円（男性比68.5、全国66.8）と高かった。

また、男性は宿泊業、飲食サービス業が194,646円で最も低かったほか、次いでサービス業（他に分類されないもの）が195,300円、生活関連サービス業、娯楽業が232,599円と低かった。女性はサービス業（他に分類されないもの）が104,093円（男性比53.3、全国51.3）と最も低かったほか、次いで宿泊業、飲食サービス業が113,998円（男性比58.6、全国51.2）、生活関連サービス業、娯楽業が127,309円（男性比54.7、全国54.2）と低かった。

男性比が最も大きい産業は、教育、学習支援業が103.1（全国69.5）、次いで複合サービス事業が80.7（全国59.2）、運輸業、郵便業が72.9（全国52.1）と大きかった。男性比が最も小さい産業は金融業、保険業の37.4（全国43.8）で、次いで卸売業、小売業が42.0（全国41.0、情報通信業の45.4（全国62.4）と小さかった。

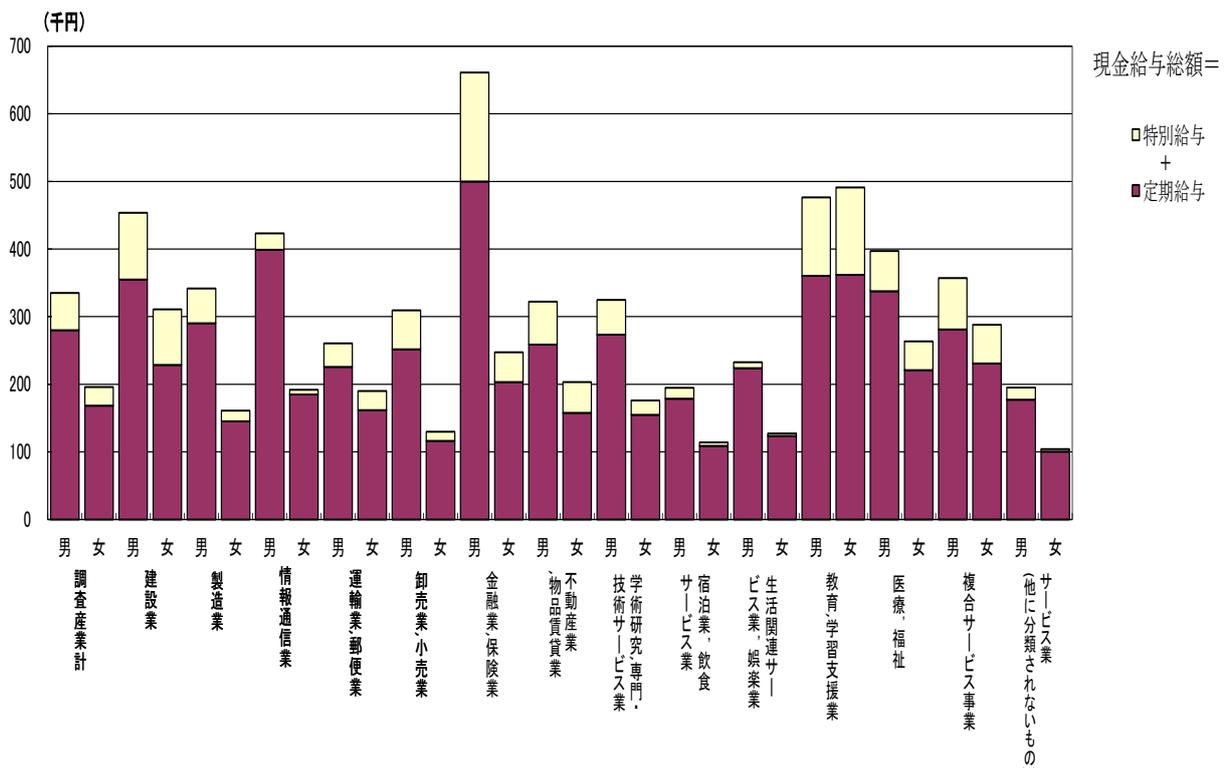
表4 産業別給与の比較(事業所規模30人以上) 青森県

区 分	現金給与総額		女性の水準 (男=100)	定期給与		女性の水準 (男=100)	特別給与		女性の水準 (男=100)
	男	女		男	女		男	女	
	円	円		円	円		円	円	
調査産業計	335,016	195,798	58.4	279,988	168,428	60.2	55,028	27,370	49.7
建設業	453,815	310,942	68.5	355,007	228,436	64.3	98,808	82,506	83.5
製造業	341,815	161,102	47.1	290,096	145,387	50.1	51,719	15,715	30.4
情報通信業	423,026	191,929	45.4	399,045	185,032	46.4	23,981	6,897	28.8
運輸業, 郵便業	260,616	190,052	72.9	225,507	161,762	71.7	35,109	28,290	80.6
卸売業, 小売業	309,466	129,982	42.0	251,736	116,068	46.1	57,730	13,914	24.1
金融業, 保険業	660,985	247,408	37.4	499,821	203,312	40.7	161,164	44,096	27.4
不動産業, 物品賃貸業	322,168	203,126	63.0	258,787	157,853	61.0	63,381	45,273	71.4
学術研究, 専門・技術サービス業	324,910	176,135	54.2	273,464	154,615	56.5	51,446	21,520	41.8
宿泊業, 飲食サービス業	194,646	113,998	58.6	178,529	108,974	61.0	16,117	5,024	31.2
生活関連サービス業, 娯楽業	232,599	127,309	54.7	223,663	123,720	55.3	8,936	3,589	40.2
教育, 学習支援業	476,296	491,079	103.1	360,247	361,935	100.5	116,049	129,144	111.3
医療, 福祉	397,126	263,364	66.3	337,628	221,041	65.5	59,498	42,323	71.1
複合サービス事業	357,064	287,991	80.7	281,103	230,919	82.1	75,961	57,072	75.1
サービス業(他に分類されないもの)	195,300	104,093	53.3	177,341	100,289	56.6	17,959	3,804	21.2

表5 産業別給与の比較(事業所規模30人以上) 全国

区 分	現金給与総額		女性の 水準 (男=100)	定期給与		女性の 水準 (男=100)	特別給与		女性の 水準 (男=100)
	男	女		男	女		男	女	
	円	円		円	円		円	円	
調査産業計	455,258	238,406	52.4	359,874	198,511	55.2	95,384	39,895	41.8
鉱業	536,291	358,174	66.8	396,673	265,620	67.0	139,618	92,554	66.3
建設業	488,713	311,180	63.7	393,158	249,662	63.5	95,555	61,518	64.4
製造業	479,022	242,087	50.5	370,538	198,838	53.7	108,484	43,249	39.9
電気・ガス業	585,467	384,980	65.8	474,879	311,047	65.5	110,588	73,933	66.9
情報通信業	579,196	361,538	62.4	441,763	282,687	64.0	137,433	78,851	57.4
運輸業, 郵便業	394,357	205,292	52.1	326,216	174,377	53.5	68,141	30,915	45.4
卸売業, 小売業	452,583	185,515	41.0	352,830	157,854	44.7	99,753	27,661	27.7
金融業, 保険業	716,382	313,931	43.8	522,074	247,989	47.5	194,308	65,942	33.9
不動産業, 物品賃貸業	468,002	252,315	53.9	363,721	206,363	56.7	104,281	45,952	44.1
学術研究, 専門・技術サービス業	568,259	352,002	61.9	434,181	283,477	65.3	134,078	68,525	51.1
宿泊業, 飲食サービス業	217,919	111,639	51.2	196,124	105,630	53.9	21,795	6,009	27.6
生活関連サービス業, 娯楽業	308,689	167,193	54.2	264,914	152,295	57.5	43,775	14,898	34.0
教育, 学習支援業	509,331	354,168	69.5	386,428	276,058	71.4	122,903	78,110	63.6
医療, 福祉	453,205	293,745	64.8	380,740	241,550	63.4	72,465	52,195	72.0
複合サービス事業	446,800	264,606	59.2	342,692	209,639	61.2	104,108	54,967	52.8
サービス業(他に分類されないもの)	314,615	161,419	51.3	265,988	148,626	55.9	48,627	12,793	26.3

図3 産業別、男女別給与の比較(事業所規模30人以上) 青森県



### 3 労働時間と出勤日数

#### (1) 労働時間

##### ア 総実労働時間

総実労働時間は、調査産業計では154.7時間、前年より0.9時間増で、前年比1.2%増となり、全国の149.0時間より5.7時間長かった。

産業別では、建設業が189.8時間（全国174.5時間）と最も長かったほか、次いで不動産業、物品賃貸業が185.1時間（全国148.3時間）、学術研究、専門・技術サービス業が173.9時間（全国159.9時間）と長かった。また、宿泊業、飲食サービス業が133.8時間（全国109.3時間）と最も短かったほか、次いで卸売業、小売業が136.1時間（全国140.0時間）、サービス業が144.0時間（全国139.3時間）と短かった。

##### イ 所定内労働時間

所定内労働時間は、調査産業計では144.0時間、前年より0.1時間減で、前年比0.0%となり、全国の136.2時間より7.8時間長かった。

産業別では、不動産業、物品賃貸業が160.2時間（全国136.8時間）と最も長かったほか、次いで建設業が158.3時間（全国156.1時間）、学術研究、専門・技術サービス業が155.2時間（全国143.9時間）と長かった。また、卸売業、小売業が129.0時間（全国132.0時間）と最も短かったほか、次いで宿泊業、飲食サービス業が129.6時間（全国102.7時間）、サービス業（他に分類されないもの）が133.4時間（全国127.9時間）と短かった。

##### ウ 所定外労働時間

所定外労働時間は、調査産業計では10.7時間、前年より1.0時間増で、前年比16.8%増となり、全国の12.8時間より2.1時間短かった。

産業別では、建設業が31.5時間（全国18.4時間）と最も長かったほか、次いで不動産業、物品賃貸業が24.9時間（全国11.5時間）、学術研究、専門・技術サービス業が18.7時間（全国16.0時間）と長かった。また、教育、学習支援業が1.3時間（全国6.3時間）と最も短かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が3.9時間（全国7.2時間）、宿泊業、飲食サービス業が4.2時間（全国6.6時間）と短かった。

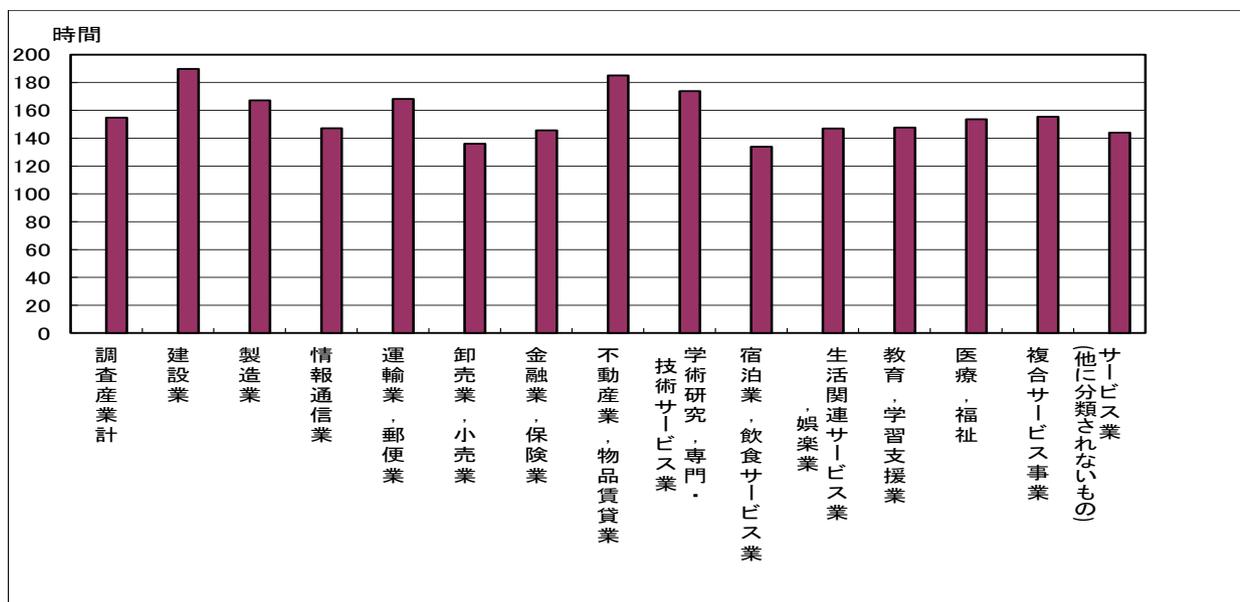
表6 労働時間数の推移(事業所規模30人以上)

区 分		総実労働時間数		所定内労働時間数		所定外労働時間数		青森県一全国		
		青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国	総 実	所定内	所定外
		時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
実 数	平成18年	159.7	153.5	148.4	140.6	11.3	12.9	6.2	7.8	△ 1.6
	平成19年	156.8	154.2	145.1	140.8	11.7	13.4	2.6	4.3	△ 1.7
	平成20年	154.9	153.0	144.0	140.1	10.9	12.9	1.9	3.9	△ 2.0
	平成21年	153.8	147.3	144.4	136.4	9.4	10.9	6.5	8.0	△ 1.5
	平成22年	155.1	149.8	144.5	137.8	10.6	12.0	5.3	6.7	△ 1.4
	平成23年	153.7	149.0	143.3	137.1	10.4	11.9	4.7	6.2	△ 1.5
	平成24年	154.4	150.7	145.0	138.5	9.4	12.2	3.7	6.5	△ 2.8
	平成25年	153.8	149.3	144.1	136.9	9.7	12.4	4.5	7.2	△ 2.7
平成26年	154.7	149.0	144.0	136.2	10.7	12.8	5.7	7.8	△ 2.1	

表7 産業別月間労働時間の全国対比(事業所規模30人以上)

区 分	総実労働時間数			所定内労働時間数			所定外労働時間数		
	青森県	全 国	青森一全国	青森県	全 国	青森一全国	青森	全 国	青森一全国
	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
調査産業計	154.7	149.0	5.7	144.0	136.2	7.8	10.7	12.8	△ 2.1
建設業	189.8	174.5	15.3	158.3	156.1	2.2	31.5	18.4	13.1
製造業	167.2	164.6	2.6	150.1	147.1	3.0	17.1	17.5	△ 0.4
情報通信業	147.1	163.4	△ 16.3	136.7	143.2	△ 6.5	10.4	20.2	△ 9.8
運輸業、郵便業	168.2	170.9	△ 2.7	152.4	145.5	6.9	15.8	25.4	△ 9.6
卸売業、小売業	136.1	140.0	△ 3.9	129.0	132.0	△ 3.0	7.1	8.0	△ 0.9
金融業、保険業	145.7	147.0	△ 1.3	136.6	133.6	3.0	9.1	13.4	△ 4.3
不動産業、物品賃貸業	185.1	148.3	36.8	160.2	136.8	23.4	24.9	11.5	13.4
学術研究・専門・技術サービス業	173.9	159.9	14.0	155.2	143.9	11.3	18.7	16.0	2.7
宿泊業、飲食サービス業	133.8	109.3	24.5	129.6	102.7	26.9	4.2	6.6	△ 2.4
生活関連サービス業・娯楽業	146.9	134.3	12.6	143.0	127.1	15.9	3.9	7.2	△ 3.3
教育、学習支援業	147.7	128.3	19.4	146.4	122.0	24.4	1.3	6.3	△ 5.0
医療、福祉	153.6	142.1	11.5	148.6	136.3	12.3	5.0	5.8	△ 0.8
複合サービス事業	155.5	152.4	3.1	150.1	144.3	5.8	5.4	8.1	△ 2.7
サービス業(他に分類されないもの)	144.0	139.3	4.7	133.4	127.9	5.5	10.6	11.4	△ 0.8

図4 総実労働時間数の産業別比較(事業所規模30人以上)青森県



(2) 出勤日数

出勤日数は、調査産業計では20.2日、前年に比べ0.1日増となり、全国の18.9日より1.3日多かった。

産業別では、建設業が22.2日（全国20.7日）と最も多かったほか、次いで不動産業、物品賃貸業が21.8日（全国19.0日）、生活関連サービス業、娯楽業が21.6日（全国18.4日）と多かった。また、教育、学習支援業が18.6日（全国17.3日）と最も少なかったほか、次いで宿泊業、飲食サービス業が19.6日（全国16.3日）、金融業、保険業と情報通信業が19.7日（それぞれ全国18.4日、19.0日）と少なかった。

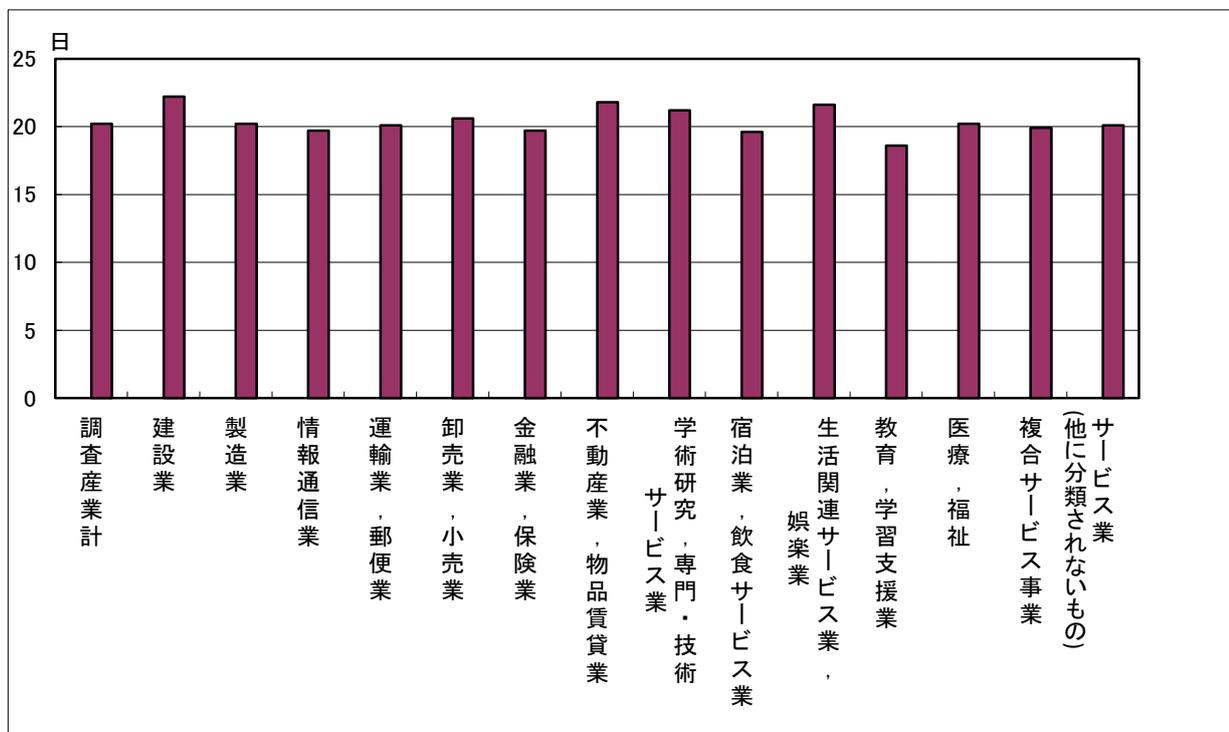
表8 出勤日数の推移(事業所規模30人以上)

区 分		出勤日数		
		青 森 県	全 国	青森-全国
実 数		日	日	日
	平成18年	20.5	19.4	1.1
	平成19年	20.6	19.4	1.2
	平成20年	20.4	19.3	1.1
	平成21年	20.4	18.8	1.6
	平成22年	20.4	19.0	1.4
	平成23年	20.2	19.0	1.2
	平成24年	20.3	19.2	1.1
	平成25年	20.1	18.9	1.2
平成26年	20.2	18.9	1.3	

表9 産業別月出勤日数の動き(事業所規模30人以上)

区 分	青 森 県		全 国	
	出勤日数	前年 増減差	出勤日数	前年 増減差
	日	日	日	日
調 査 産 業 計	20.2	0.1	18.9	0.0
建 設 業	22.2	0.8	20.7	0.0
製 造 業	20.2	0.4	19.3	0.0
情 報 通 信 業	19.7	△ 0.3	19.0	△ 0.1
運 輸 業 , 郵 便 業	20.1	△ 0.4	19.9	△ 0.1
卸 売 業 , 小 売 業	20.6	△ 0.1	19.3	△ 0.1
金 融 業 , 保 険 業	19.7	0.5	18.4	△ 0.2
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	21.8	△ 0.1	19.0	△ 0.1
学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	21.2	1.3	19.0	0.0
宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	19.6	0.6	16.3	△ 0.2
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 , 娯 楽 業	21.6	0.8	18.4	△ 0.2
教 育 , 学 習 支 援 業	18.6	△ 0.4	17.3	0.0
医 療 , 福 祉	20.2	△ 0.1	18.7	△ 0.1
複 合 サ ー ビ ス 事 業	19.9	0.0	19.6	△ 0.1
サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	20.1	△ 0.1	18.5	△ 0.1

図5 出勤日数の産業別比較（事業所規模 30人以上）青森県



### (3) 男女別労働時間

総実労働時間は、調査産業計では男性が 166.7 時間で前年より 1.0 時間増となり、女性が 142.1 時間で前年より 0.9 時間増となった。男性を 100 としたときの女性の水準をみると、調査産業計では 85.2（以下男性比と表記）で前年と比べ 0.0 ポイントとなった。

（全国は男性比 80.4 で前年より 0.4 ポイント減）

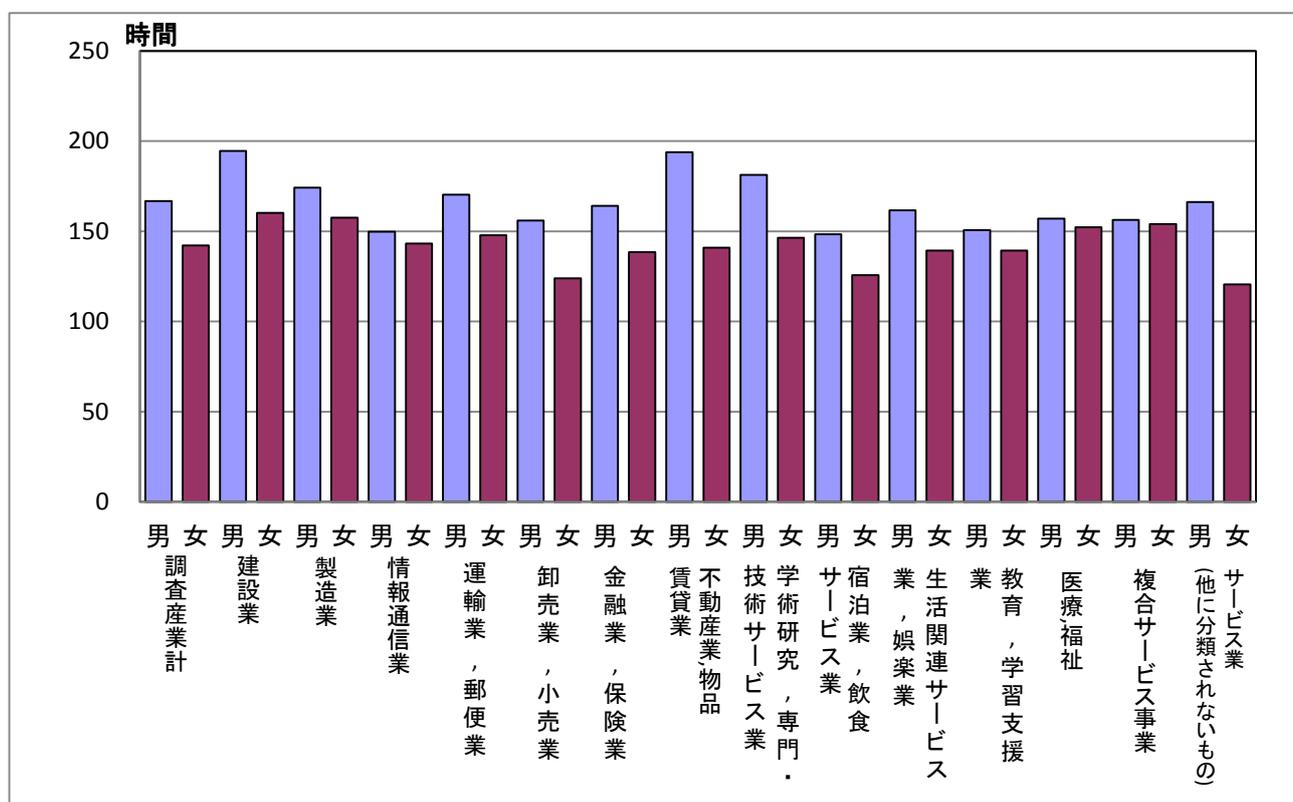
産業別にみると、男性は建設業が 194.5 時間で最も長かったほか、次いで不動産業、物品賃貸業が 193.9 時間、学術研究、専門・技術サービス業が 181.3 時間と長かった。女性は建設業が 160.2 時間（男性比 82.4、全国 88.3）で最も長かったほか、次いで製造業が 157.6 時間（男性比 90.5、全国 87.0）、複合サービス事業が 154.0 時間（男性比 98.5、全国 91.3）と長かった。

また、男性は宿泊業、飲食サービス業が 148.4 時間で最も短かったほか、次いで情報通信業が 149.7 時間、教育、学習支援業が 150.6 時間と短かった。女性は、サービス業（他に分類されないもの）が 120.6 時間（男性比 72.6、全国 77.3）と最も短かったほか、次いで卸売業、小売業が 124.0 時間（男性比 79.5、全国 78.0）、宿泊業、飲食サービス業が 125.7 時間（男性比 84.7、全国 75.4）と短かった。

表10 産業別・男女別総実労働時間(事業所規模30人以上)

区 分	総 実 労 働 時 間					
	青森県		女性の 水準 (男=100)	全国		女性の 水準 (男=100)
	男	女		男	女	
	時間	時間		時間	時間	
調 査 産 業 計	166.7	142.1	85.2	162.5	130.7	80.4
建 設 業	194.5	160.2	82.4	177.1	156.3	88.3
製 造 業	174.2	157.6	90.5	170.3	148.1	87.0
情 報 通 信 業	149.7	143.3	95.7	168.8	146.6	86.8
運 輸 業 , 郵 便 業	170.3	147.9	86.8	179.9	135.6	75.4
卸 売 業 , 小 売 業	156.0	124.0	79.5	158.1	123.3	78.0
金 融 業 , 保 険 業	164.2	138.4	84.3	160.4	135.4	84.4
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	193.9	140.9	72.7	156.6	133.4	85.2
学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	181.3	146.5	80.8	164.4	146.9	89.4
宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	148.4	125.7	84.7	127.6	96.2	75.4
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 , 娯 楽 業	161.6	139.4	86.3	150.4	121.9	81.1
教 育 , 学 習 支 援 業	150.6	139.3	92.5	134.0	121.5	90.7
医 療 , 福 祉	157.1	152.2	96.9	149.6	139.1	93.0
複 合 サ ー ビ ス 事 業	156.4	154.0	98.5	157.2	143.5	91.3
サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	166.2	120.6	72.6	157.5	121.8	77.3

図6 総実労働時間の産業別及び男女別比較 (事業所規模 30人以上) 青森県



## 4 常用労働者の動き

### (1) 雇用について

常用労働者数は、調査産業計では212,897人（男109,464人、女103,431人）で、前年より3,689人減となった。

産業別では、医療、福祉が46,133人（全産業に占める割合21.7%、全国14.6%）が最も多かったほか、次いで製造業が42,550人（同20.0%、全国22.0%）、卸売業、小売業が28,696人（同13.5%、全国14.5%）と多かった。また、不動産業、物品賃貸業が540人（同0.3%、全国1.2%）と最も少なかったほか、次いで学術研究、専門・技術サービス業が3,029人（同1.4%、全国2.9%）、情報通信業が3,252人（同1.5%、全国4.2%）と少なかった。

男女別構成比をみると、男性の占める割合が最も高い産業は運輸業、郵便業が91.2%（全国79.7%）で、次いで建設業が86.1%（全国87.3%）、不動産業、物品賃貸業が83.1%（全国64.0%）と高かった。女性の占める割合が最も高い産業は医療、福祉が72.2%（全国71.3%）で、次いで金融業、保険業が71.6%（全国53.8%）、生活関連サービス業、娯楽業が66.1%（全国56.6%）、と高かった。

表11 産業別・男女別常用労働者数及び産業別・男女別構成比(事業所規模30人以上) 青森県

	常用労働者数(人)			産業別構成比(%)			男女別構成比(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
調査産業計	212,897	109,464	103,431	100.0	100.0	100.0	51.4	48.6
建設業	9,085	7,818	1,266	4.3	7.1	1.2	86.1	13.9
製造業	42,550	24,456	18,093	20.0	22.3	17.5	57.5	42.5
情報通信業	3,252	1,901	1,350	1.5	1.7	1.3	58.5	41.5
運輸業,郵便業	21,348	19,466	1,881	10.0	17.8	1.8	91.2	8.8
卸売業,小売業	28,696	10,918	17,777	13.5	10.0	17.2	38.0	61.9
金融業,保険業	6,233	1,771	4,462	2.9	1.6	4.3	28.4	71.6
不動産業,物品賃貸業	540	449	90	0.3	0.4	0.1	83.1	16.7
学術研究,専門・技術サービス業	3,029	2,389	639	1.4	2.2	0.6	78.9	21.1
宿泊業,飲食サービス業	8,706	3,094	5,613	4.1	2.8	5.4	35.5	64.5
生活関連サービス業,娯楽業	6,912	2,346	4,566	3.2	2.1	4.4	33.9	66.1
教育,学習支援業	10,655	7,903	2,752	5.0	7.2	2.7	74.2	25.8
医療,福祉	46,133	12,842	33,292	21.7	11.7	32.2	27.8	72.2
複合サービス事業	3,289	2,135	1,154	1.5	2.0	1.1	64.9	35.1
サービス業(他に分類されないもの)	21,208	10,816	10,393	10.0	9.9	10.0	51.0	49.0

表12 産業別・男女別常用労働者数及び産業別・男女別構成比(事業所規模30人以上) 全国

区 分	常用労働者数(千人)			産業別構成比(%)			男女別構成比(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
調査産業計	27,307	15,730	11,577	100.0	100.0	100.0	57.6	42.4
鉱業	9	8	1	0.0	0.1	0.0	88.9	11.1
建設業	952	831	121	3.5	5.3	1.0	87.3	12.7
製造業	6,004	4,458	1,546	22.0	28.3	13.4	74.3	25.7
電気・ガス業	222	192	30	0.8	1.2	0.3	86.5	13.5
情報通信業	1,155	874	281	4.2	5.6	2.4	75.7	24.3
運輸業,郵便業	2,330	1,856	474	8.5	11.8	4.1	79.7	20.3
卸売業,小売業	3,951	1,895	2,057	14.5	12.0	17.8	48.0	52.1
金融業,保険業	859	397	462	3.1	2.5	4.0	46.2	53.8
不動産業,物品賃貸業	328	210	117	1.2	1.3	1.0	64.0	35.7
学術研究,専門・技術サービス業	793	593	201	2.9	3.8	1.7	74.8	25.3
宿泊業,飲食サービス業	1,459	609	850	5.3	3.9	7.3	41.7	58.3
生活関連サービス業,娯楽業	825	359	467	3.0	2.3	4.0	43.5	56.6
教育,学習支援業	1,776	970	806	6.5	6.2	7.0	54.6	45.4
医療,福祉	3,980	1,144	2,836	14.6	7.3	24.5	28.7	71.3
複合サービス事業	131	86	45	0.5	0.5	0.4	65.6	34.4
サービス業(他に分類されないもの)	2,532	1,247	1,285	9.3	7.9	11.1	49.2	50.8

図7 常用労働者の産業別女性の割合(事業所規模30人以上) 青森県

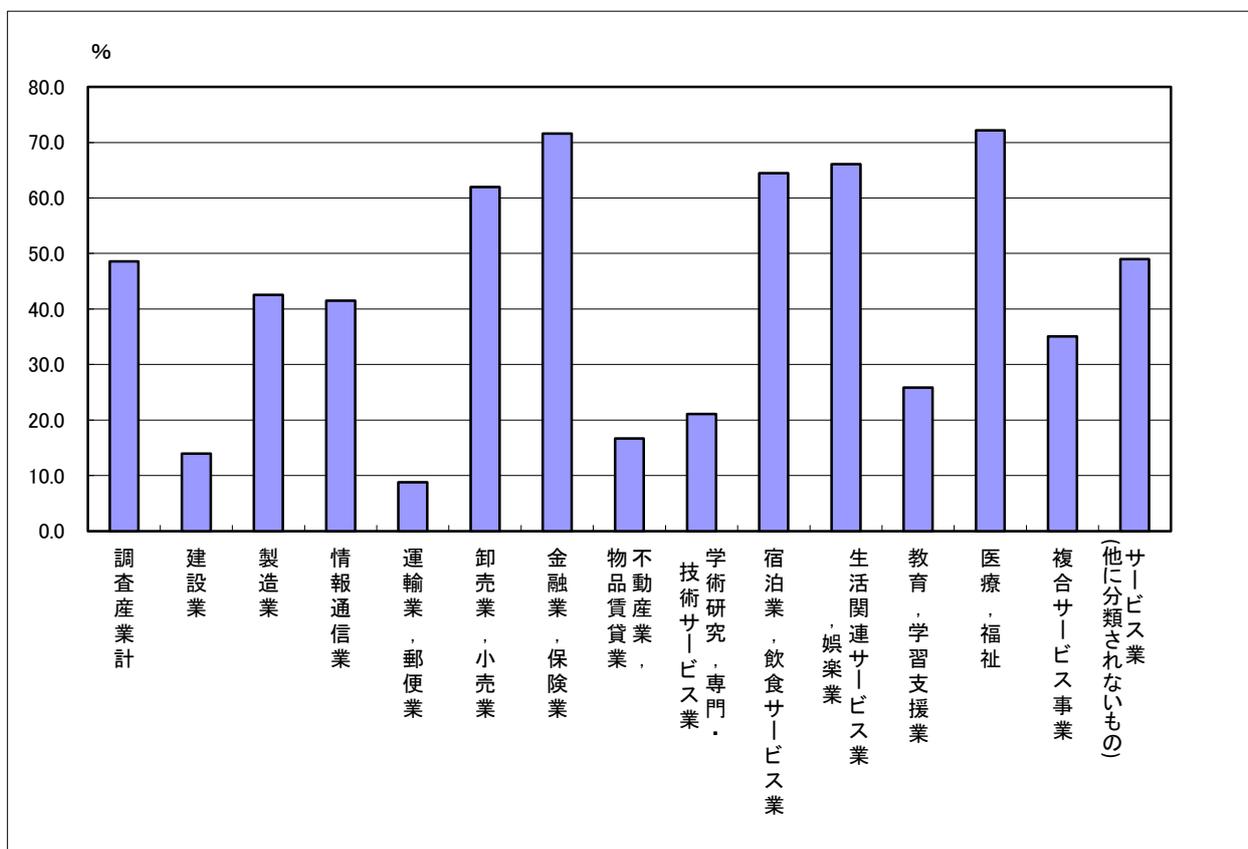


図8 常用労働者の産業別構成比（総数）（事業所規模30人以上）青森県

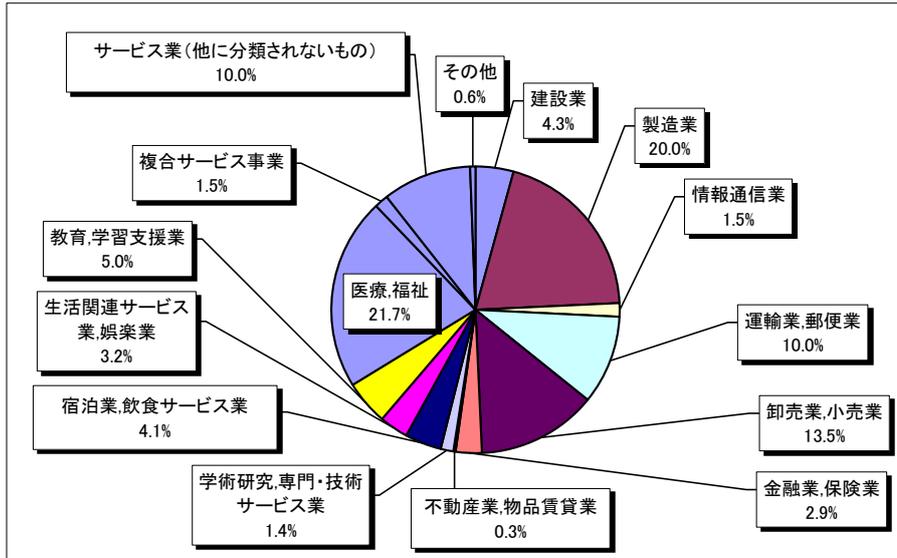


図9 常用労働者の産業別構成比（男）（事業所規模30人以上）青森県

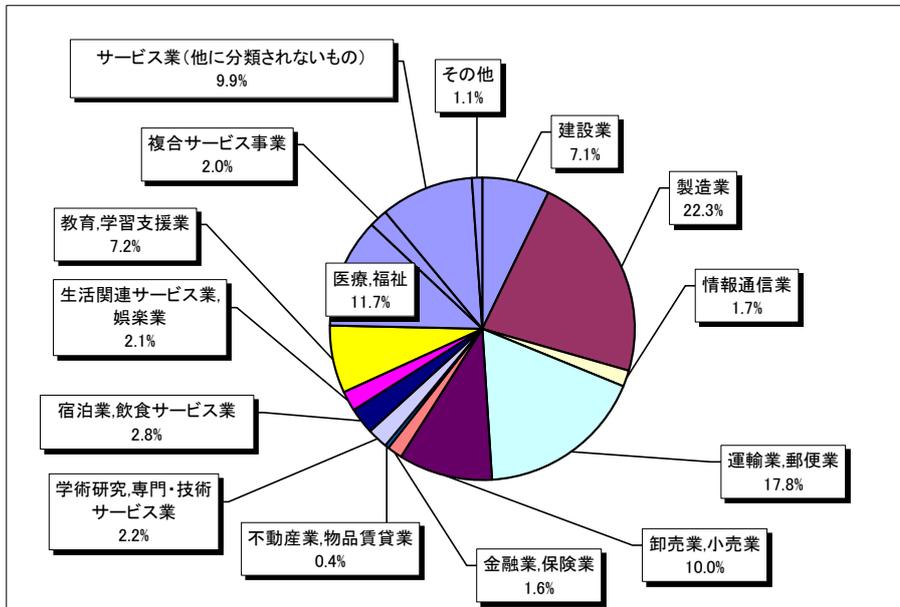
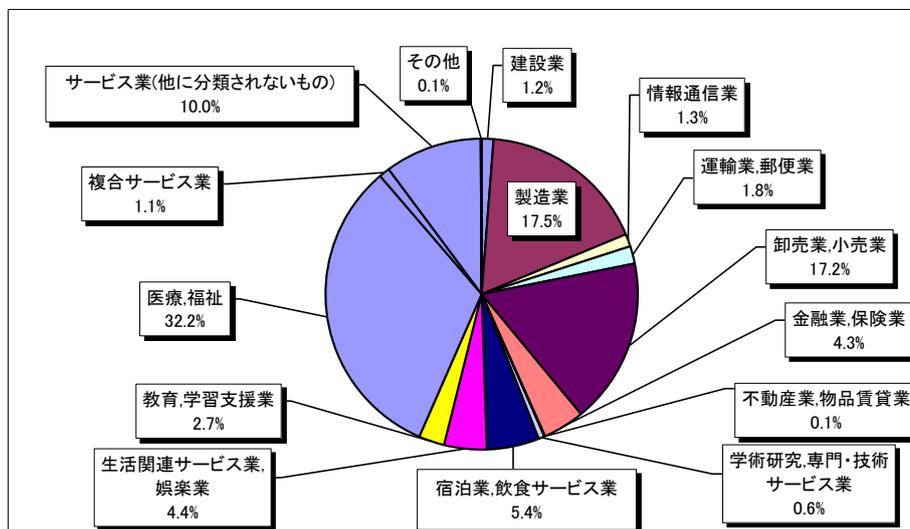


図10 常用労働者の産業別構成比（女）（事業所規模30人以上）青森県



(2) 労働異動について

常用労働者の異動状況をみると、調査産業計では入職率 1.57% (全国 1.82%) に対し、離職率は 1.55% (全国 1.80%) で、入職率が 0.02 ポイント上回った。

産業別にみると、入職率は宿泊業, 飲食サービス業が 3.13% (全国 3.75%) と最も高かったほか、次いで生活関連サービス業, 娯楽業が 3.06% (全国 3.21%)、サービス業(他に分類されないもの) が 2.65% (全国 2.68%) と高かった。離職率では生活関連サービス業, 娯楽業が 3.39% (全国 2.99%) と最も高かったほか、次いでサービス業(他に分類されないもの) が 2.59% (全国 2.54%)、金融業, 保険業が 2.54% (全国 1.79%) と高かった。

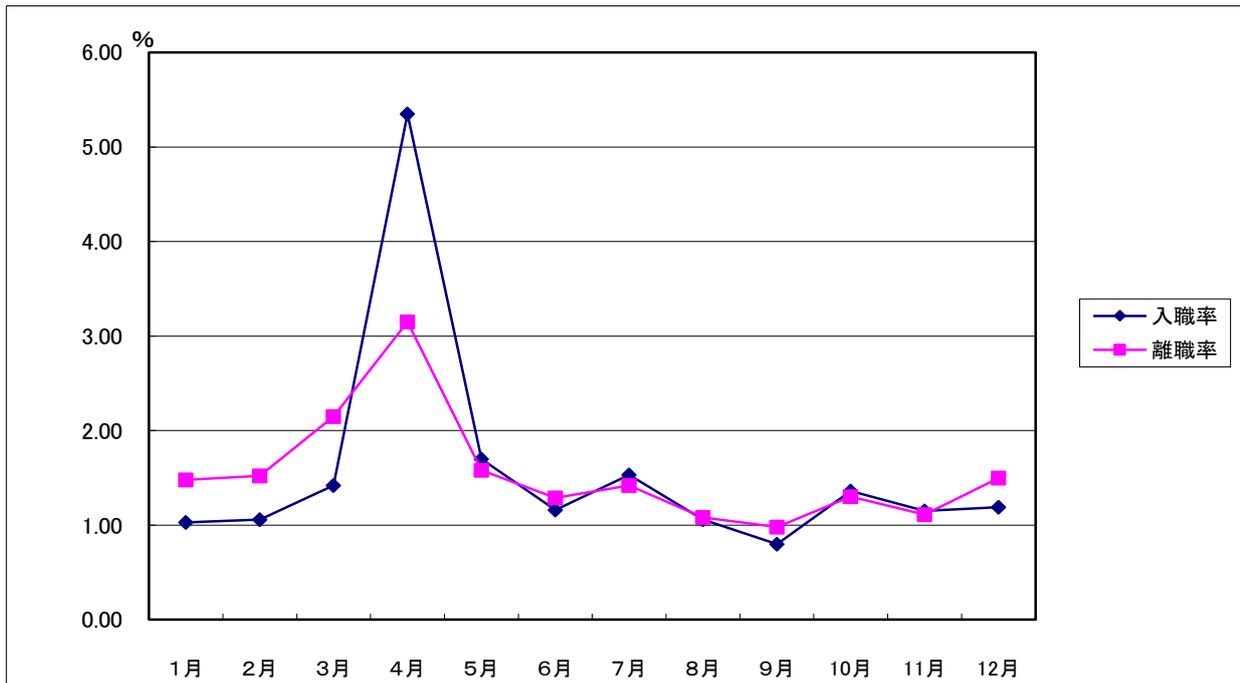
また、入職率と離職率の差を比較すると、入職率が離職率を上回った産業では、情報通信業が 1.06 ポイントと最も高かったほか、次いで宿泊業, 飲食サービス業が 1.05 ポイント上回った。離職率が入職率を上回った産業では、生活関連サービス業, 娯楽業が 0.33 ポイントと最も高かったほか、次いで金融業, 保険業が 0.24 ポイント、卸売業, 小売業で 0.18 ポイント上回った。

表13 雇用及び労働異動率(事業所規模30人以上)

区 分	入 職 率		離 職 率		入職率－離職率	
	青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国
	%	%	%	%	ポイント	ポイント
調 査 産 業 計	1.57	1.82	1.55	1.80	0.02	0.02
建 設 業	1.30	1.37	0.86	1.32	0.44	0.05
製 造 業	1.16	1.08	1.26	1.16	△ 0.10	△ 0.08
情 報 通 信 業	2.34	1.34	1.28	1.34	1.06	0.00
運 輸 業, 郵 便 業	1.16	1.79	1.31	1.70	△ 0.15	0.09
卸 売 業, 小 売 業	1.12	1.65	1.30	1.69	△ 0.18	△ 0.04
金 融 業, 保 険 業	2.30	1.74	2.54	1.79	△ 0.24	△ 0.05
不 動 産 業, 物 品 賃 貸 業	0.81	1.71	0.73	1.61	0.08	0.10
学 術 研 究, 専 門・技 術 サービス 業	2.54	1.50	1.91	1.55	0.63	△ 0.05
宿 泊 業, 飲 食 サービス 業	3.13	3.75	2.08	3.74	1.05	0.01
生 活 関 連 サービス 業, 娯 楽 業	3.06	3.21	3.39	2.99	△ 0.33	0.22
教 育, 学 習 支 援 業	1.05	2.40	1.06	2.37	△ 0.01	0.03
医 療, 福 祉	1.41	1.68	1.33	1.58	0.08	0.10
複 合 サービス 事 業	1.21	1.64	1.09	1.67	0.12	△ 0.03
サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	2.65	2.68	2.59	2.54	0.06	0.14

注) 入(離)職率=当月入(離)職者数÷前月末労働者数×100

図 11 1年間の労働異動率の推移（調査産業計、事業所規模30人以上）青森県



(3) 就業形態別の動きについて

常用労働者に占めるパートタイム労働者の割合は、調査産業計では25.9%で、前年より1.0ポイント増（全国24.75%、前年より0.19ポイント増）となった。

産業別では、卸売業、小売業が61.3%（全国41.64%）と最も高かったほか、次いで宿泊業、飲食サービス業が55.2%（全国69.97%）、サービス業（他に分類されないもの）が46.7%（全国36.46%）と高かった。また、複合サービス事業が0.5%（全国11.19%）と最も低かったほか、次いで建設業が1.2%（全国2.57%）、不動産業、物品賃貸業が3.8%（全国22.79%）と低かった。

表 14 パートタイム労働者比率（事業所規模30人以上）

区分	青森県		全国	
	比率	前年差	比率	前年差
	%	ポイント	%	ポイント
調査産業計	25.9	1.0	24.75	0.19
建設業	1.2	0.3	2.57	0.50
製造業	14.0	2.3	10.47	0.13
情報通信業	29.1	12.7	5.31	△ 0.08
運輸業、郵便業	13.9	1.6	20.76	1.67
卸売業、小売業	61.3	3.2	41.64	△ 0.35
金融業、保険業	10.6	0.3	14.37	0.70
不動産業、物品賃貸業	3.8	△ 1.3	22.79	△ 1.51
学術研究、専門・技術サービス業	11.6	△ 3.2	5.97	0.02
宿泊業、飲食サービス業	55.2	△ 4.9	69.97	0.22
生活関連サービス業、娯楽業	35.0	△ 4.1	46.74	1.10
教育、学習支援業	11.1	1.1	24.52	△ 0.02
医療、福祉	18.0	0.0	22.13	0.10
複合サービス事業	0.5	0.1	11.19	△ 0.60
サービス業（他に分類されないもの）	46.7	△ 2.6	36.46	△ 0.46

図 12 パートタイム労働者比率の推移（事業所規模 30 人以上）青森県

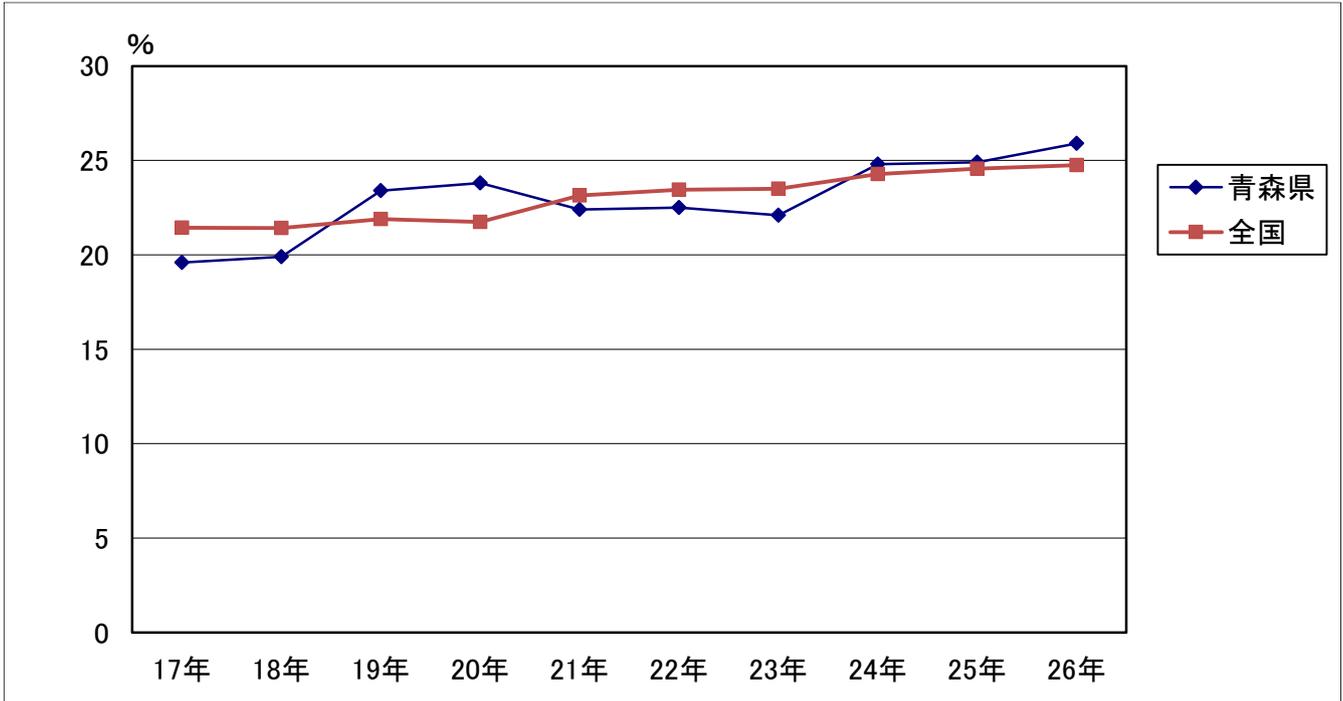


表 15 参考: 就業形態別の比較(調査産業計、事業所規模30人以上)

区分	現金給与 総額	定期給与	特別給与	出勤日数	総実労働 時間	所定内労働 時間	所定外労働 時間	常用労働 者数
	円	円	円	日	時間	時間	時間	人
青森県	一般労働者	325,696	270,825	54,871	20.6	170.1	156.8	157,718
	パートタイム労働者	100,813	97,157	3,656	19.1	110.9	107.5	55,179
全国	一般労働者	447,677	353,222	94,455	19.8	166.5	150.8	20,548 (千人)
	パートタイム労働者	106,946	103,763	3,183	16.1	95.9	92.1	6,759 (千人)

## IV 特別調査結果の概要（事業所規模1～4人）

### 1 概況

平成26年7月に調査した常用労働者数1～4人の事業所の、賃金、労働時間及び雇用の概況は、次のとおりである。

(1) 一人平均定期給与額（7月分）は、173,919円で、前年より1,357円増となった。

特別給与（平成25年8月1日～平成26年7月31日）は174,886円で、前年より10,695円増となった。

(2) 一人平均出勤日数（7月分）は21.9日で、前年より0.2日減となった。通常日一日の実労働時間は7.1時間で、前年より0.1時間減となった。

(3) 常用労働者数（7月分）は23,775人で、前年より492人減となった。

※以降、7月分の一人平均の賃金、一日の労働時間、出勤日数と常用労働者数を表す。

ただし、特別給与は平成25年8月1日から平成26年7月31日までの1年間に特別に支払われた給与を表す。

表1 平成26年毎月勤労統計調査特別調査結果の概要（事業所規模1～4人）

区 分	青 森 県		全 国		水 準
	実 数	前年差	実 数	前年差	全国=100
1 賃金					
定期給与	173,919 円	1,357 円	192,120 円	1,646 円	90.5
特別給与	174,886 円	10,695 円	208,488 円	6,682 円	83.9
2 労働時間数及び出勤日数					
一日の労働時間数	7.1 時間	△ 0.1 時間	7.1 時間	0.0 時間	
出勤日数	21.9 日	△ 0.2 日	20.7 日	0.0 日	
3 雇 用					
労働者数	23,775 人	△ 492 人	2,014 千人	△ 118 千人	

注) ①この特別調査では指数を基にした前年比を算出していないため、前年差を記載している。

②特別給与はH25年8月1日～H26年7月31日までの1年間に特別に支払われた給与であるため、単純に定期給与(7月分)と合わせて現金給与総額とはならない。

表2 参考:特別調査結果の推移

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
定期給与額(円)	171,036	174,357	166,048	172,899	166,920	170,613	178,687	172,562	173,919
特別給与額(円)	252,932	186,267	145,594	183,518	160,560	176,354	190,517	164,191	174,886
労働時間数(時間)	7.4	7.3	7.2	7.3	7.2	7.1	7.3	7.2	7.1
出勤日数(日)	22.4	22.6	22.8	22.7	22.2	21.5	21.8	22.1	21.9
常用労働者数(人)	30,320	25,279	23,571	26,285	26,663	19,404	23,013	24,267	23,775

## 2 賃 金

(1) 定期給与額は、調査産業計では 173,919 円で、前年より 1,357 円増（全国は 192,120 円、前年より 1,646 円増）となった。全国平均を 100 とした場合、青森県の水準は、調査産業計で 90.5（以下全国対比と表記）となった。

産業別にみると、建設業が 225,625 円（全国対比 89.3）と最も高かった。また、宿泊業、飲食サービス業が 94,014 円（全国対比 87.6）と最も低かったほか、生活関連サービス業、娯楽業が 113,519 円（全国対比 76.7）と低かった。

(2) 特別給与額は、調査産業計では 174,886 円で、前年より 10,695 円増（全国は 208,488 円、前年より 6,682 円増）となった。

産業別にみると、医療、福祉が 215,855 円（全国対比 88.3）と最も高かった。また、宿泊業、飲食サービス業が 3,850 円（全国対比 17.4）と最も低かったほか、生活関連サービス業、娯楽業が 4,917 円（全国対比 10.1）と低かった。

表3 給与の推移(事業所規模1～4人、調査産業計)

区 分	定期給与		特別給与		賃金水準(全国=100)		
	青森県	全 国	青森県	全 国	定期給与	特別給与	
	円	円	円	円			
実 額	平成19年	174,357	190,482	186,267	214,629	91.5	86.8
	平成20年	166,048	192,630	145,594	208,367	86.2	69.9
	平成21年	172,899	185,402	183,518	195,387	93.3	93.9
	平成22年	166,920	184,676	160,560	184,694	90.4	86.9
	平成23年	170,613	187,962	176,354	191,014	90.8	92.3
	平成24年	178,687	188,928	190,517	191,400	94.6	99.5
	平成25年	172,562	190,474	164,191	201,806	90.6	81.4
	平成26年	173,919	192,120	174,886	208,488	90.5	83.9

表4 産業別給与の比較(事業所規模1～4人)

区 分	定期給与		全国 =100	特別給与		全国 =100
	青森県	全 国		青森県	全 国	
	円	円		円	円	
調査産業計	173,919	192,120	90.5	174,886	208,488	83.9
建設業	225,625	252,557	89.3	96,703	172,273	56.1
製造業	197,352	212,303	93.0	176,169	211,136	83.4
卸売業、小売業	167,109	193,913	86.2	162,258	221,427	73.3
宿泊業、飲食サービス業	94,014	107,309	87.6	3,850	22,094	17.4
生活関連サービス業、娯楽業	113,519	148,036	76.7	4,917	48,537	10.1
医療、福祉	176,659	177,478	99.5	215,855	244,526	88.3

図1 産業別給与の全国対比（全国=100）事業所規模1～4人

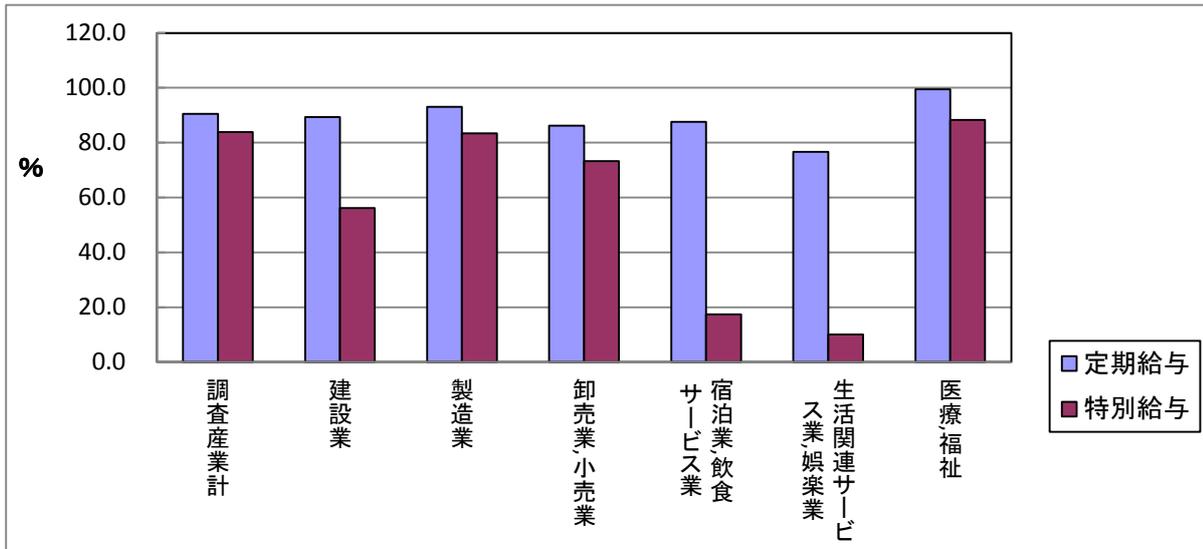
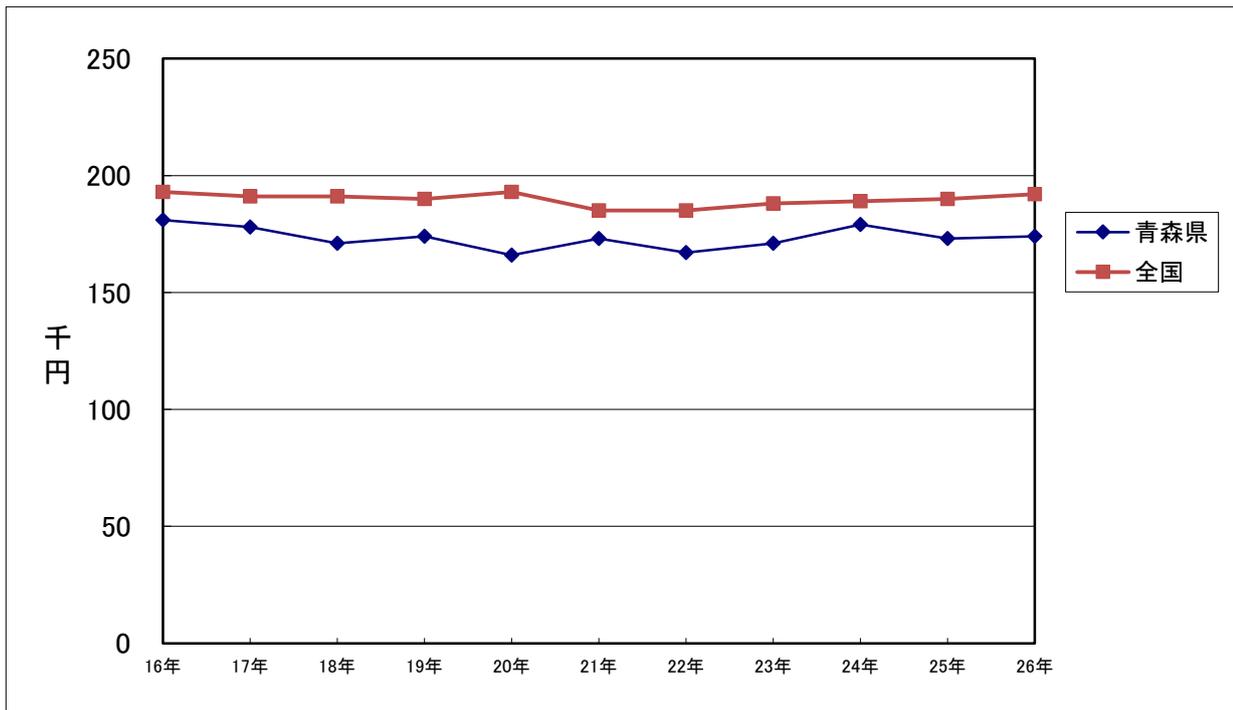


図2 定期給与額の推移（調査産業計）事業所規模1～4人



### (3) 男女別給与

定期給与額について、調査産業計で男性は233,569円で、前年より677円増となり、女性は130,737円で、前年より112円増となった。男性を100としたときの女性の水準をみると、調査産業計では56.0（以下男性比と表記）で、前年比0.1ポイント減となった。（全国は男性比47.5で前年比1.3ポイント減）

産業別にみると、男性は建設業が239,016円で最も高かったほか、次いで医療、福祉が232,355円と高かった。女性では医療、福祉が165,730円（男性比71.3、全国68.0）と最も高かったほか、次いで建設業が149,838円（男性比62.7、全国52.4）と高かった。

また、男性は宿泊業、飲食サービス業が150,280円で最も低かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が160,211円と低く、女性は宿泊業、飲食サービス業が85,154円（男性比56.7、全国49.5）で最も低かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が105,176円（男性比65.6、全国63.3）と低かった。

男性比が最も大きい産業は医療、福祉が71.3（全国68.0）で、次いで製造業が70.1（全国51.8）と大きかった。男性比が最も小さい産業は、卸売業、小売業が54.3（全国54.2）で、次いで宿泊業、飲食サービス業が56.7（全国49.5）と小さかった。

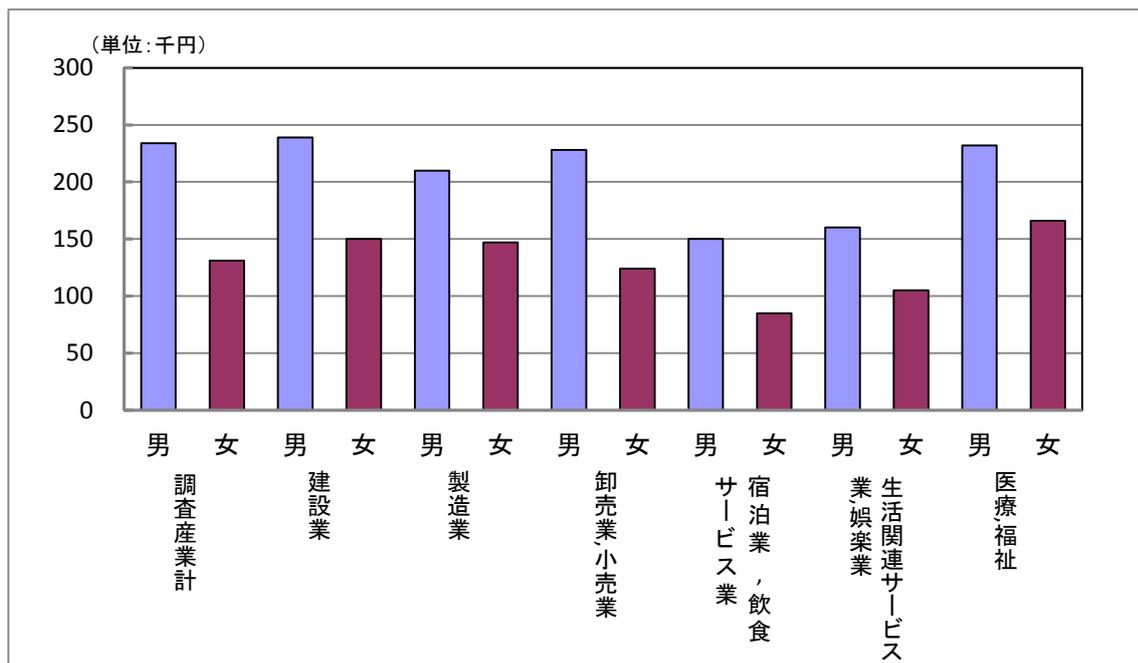
表5 産業別・男女別給与(事業所規模1～4人) 青森県

区 分	定 期 給 与		女性の水準 (男=100)	特 別 給 与		女性の水準 (男=100)
	男	女		男	女	
	円	円		円	円	
調 査 産 業 計	233,569	130,737	56.0	230,374	133,154	57.8
建 設 業	239,016	149,838	62.7	99,695	80,106	80.4
製 造 業	209,957	147,227	70.1	183,591	147,033	80.1
卸 売 業 , 小 売 業	228,445	124,027	54.3	251,392	98,987	39.4
宿泊業,飲食サービス業	150,280	85,154	56.7	10,402	2,731	26.3
生活関連サービス業,娯楽業	160,211	105,176	65.6	12,500	3,642	29.1
医 療 , 福 祉	232,355	165,730	71.3	126,492	234,466	185.4

表6 産業別・男女別給与(事業所規模1～4人) 全国

区 分	定 期 給 与		女性の水準 (男=100)	特 別 給 与		女性の水準 (男=100)
	男	女		男	女	
	円	円		円	円	
調 査 産 業 計	257,996	140,614	54.5	293,827	139,652	47.5
建 設 業	283,024	148,191	52.4	194,914	95,332	48.9
製 造 業	259,907	134,689	51.8	273,317	109,204	40.0
卸 売 業 , 小 売 業	261,033	141,555	54.2	344,318	122,622	35.6
宿泊業,飲食サービス業	168,106	83,154	49.5	43,119	13,820	32.1
生活関連サービス業,娯楽業	205,554	130,037	63.3	95,199	33,657	35.4
医 療 , 福 祉	244,347	166,168	68.0	260,354	242,022	93.0

図3 産業別・男女別定期給与額の比較（事業所規模1～4人） 青森県



### 3 労働時間と出勤日数

#### (1) 労働時間

通常日1日の実労働時間数は、調査産業計では7.1時間、前年より0.1時間減となり、全国の7.1時間と同じであった。

産業別では、建設業と製造業が7.7時間（それぞれ全国7.6時間、全国7.3時間）と最も長かったほか、次いで卸売、小売業が7.3時間（全国7.3時間）と長かった。また、宿泊業、飲食サービス業が5.8時間（全国6.0時間）と最も短かったほか、生活関連サービス業、娯楽業が6.9時間（全国7.1時間）と短かった。

#### (2) 出勤日数

出勤日数は、調査産業計では21.9日、前年より0.2日減となり、全国の20.7日より1.2日多かった。

産業別にみると、製造業が22.8日（全国22.1日）と最も多かったほか、次いで建設業が22.7日（全国22.1日）と多かった。また、宿泊業、飲食サービス業が19.8日（全国18.7日）と最も少なかった。

表7 実労働時間数及び出勤日数の推移(事業所規模1～4人、調査産業計)

区 分		実労働時間数			出勤日数		
		青森県	全 国	青森-全国	青森県	全 国	青森-全国
		時間	時間	時間	日	日	日
実 数	平成19年	7.3	7.2	0.1	22.6	21.1	1.5
	平成20年	7.2	7.2	0.0	22.8	21.2	1.6
	平成21年	7.3	7.1	0.2	22.7	20.8	1.9
	平成22年	7.2	7.1	0.1	22.2	20.7	1.5
	平成23年	7.1	7.1	0.0	21.5	20.6	0.9
	平成24年	7.3	7.1	0.2	21.8	20.6	1.2
	平成25年	7.2	7.1	0.1	22.1	20.7	1.4
	平成26年	7.1	7.1	0.0	21.9	20.7	1.2

表8 産業別実労働時間数及び出勤日数の全国対比(事業所規模1～4人)

区 分	実労働時間数			出勤日数		
	青森県	全 国	青森-全国	青森県	全 国	青森-全国
	時間	時間	時間	日	日	日
調 査 産 業 計	7.1	7.1	0.0	21.9	20.7	1.2
建 設 業	7.7	7.6	0.1	22.7	22.1	0.6
製 造 業	7.7	7.3	0.4	22.8	21.1	1.7
卸 売 業 , 小 売 業	7.3	7.3	0.0	22.6	21.3	1.3
宿泊業,飲食サービス業	5.8	6.0	△ 0.2	19.8	18.7	1.1
生活関連サービス業,娯楽業	6.9	7.1	△ 0.2	21.7	20.7	1.0
医 療 , 福 祉	7.1	6.8	0.3	22.6	20.3	2.3

#### 4 常用労働者の動き

常用労働者数は、調査産業計では23,775人(男9,984人、女13,791人)で、前年より492人減となった。

産業別では、卸売業,小売業が7,168人(全産業に占める割合30.1%、全国26.9%)と最も多かったほか、次いで建設業が3,086人(同13.0%、全国10.5%)と多かった。また、製造業が1,022人(同4.3%、全国8.2%)と最も少なかったほか、次いで生活関連サービス業,娯楽業が1,975人(同8.3%、全国9.4%)と少なかった。

男女別構成比をみると、男性の占める割合が最も高い産業は建設業が85.0%(全国77.7%)で、次いで製造業が79.8%(全国62.4%)と高かった。また、女性の占める割合が最も高い産業は宿泊業,飲食サービス業が86.4%(全国71.6%)で、次いで生活関連サービス業,娯楽業が84.9%(全国76.3%)と高かった。

表9 産業別・男女別常用労働者数及び産業別・男女別構成比(事業所規模1~4人) 青森県

区 分	常用労働者数(人)			産業別構成比(%)			男女別構成比(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
調 査 産 業 計	23,775	9,984	13,791	100.0	100.0	100.0	42.0	58.0
建 設 業	3,086	2,623	463	13.0	26.3	3.4	85.0	15.0
製 造 業	1,022	816	205	4.3	8.2	1.5	79.8	20.1
卸 売 業 , 小 売 業	7,168	2,958	4,211	30.1	29.6	30.5	41.3	58.7
宿泊業,飲食サービス業	3,041	414	2,627	12.8	4.1	19.0	13.6	86.4
生活関連サービス業,娯楽業	1,975	299	1,676	8.3	3.0	12.2	15.1	84.9
医 療 , 福 祉	2,040	335	1,705	8.6	3.4	12.4	16.4	83.6

表10 産業別・男女別常用労働者数及び産業別・男女別構成比(事業所規模1~4人) 全国

区 分	常用労働者数(千人)			産業別構成比(%)			男女別構成比(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
調 査 産 業 計	2,014	884	1,130	100.0	100.0	100.0	43.9	56.1
建 設 業	211	164	48	10.5	18.6	4.2	77.7	22.7
製 造 業	165	103	63	8.2	11.7	5.6	62.4	38.2
卸 売 業 , 小 売 業	541	237	304	26.9	26.8	26.9	43.8	56.2
宿泊業,飲食サービス業	211	60	151	10.5	6.8	13.4	28.4	71.6
生活関連サービス業,娯楽業	190	45	145	9.4	5.1	12.8	23.7	76.3
医 療 , 福 祉	195	28	167	9.7	3.2	14.8	14.4	85.6

図4 常用労働者の産業別女性の割合(事業所規模1~4人) 青森県

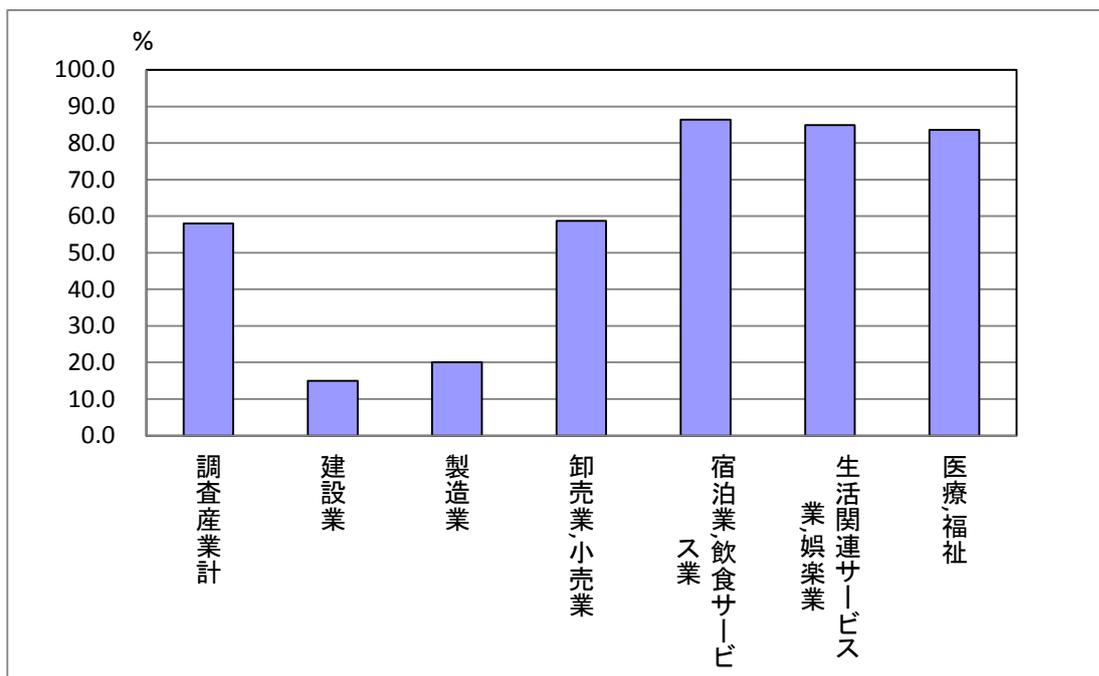


図5 常用労働者の産業別構成比（総数）（事業所規模1～4人）青森県

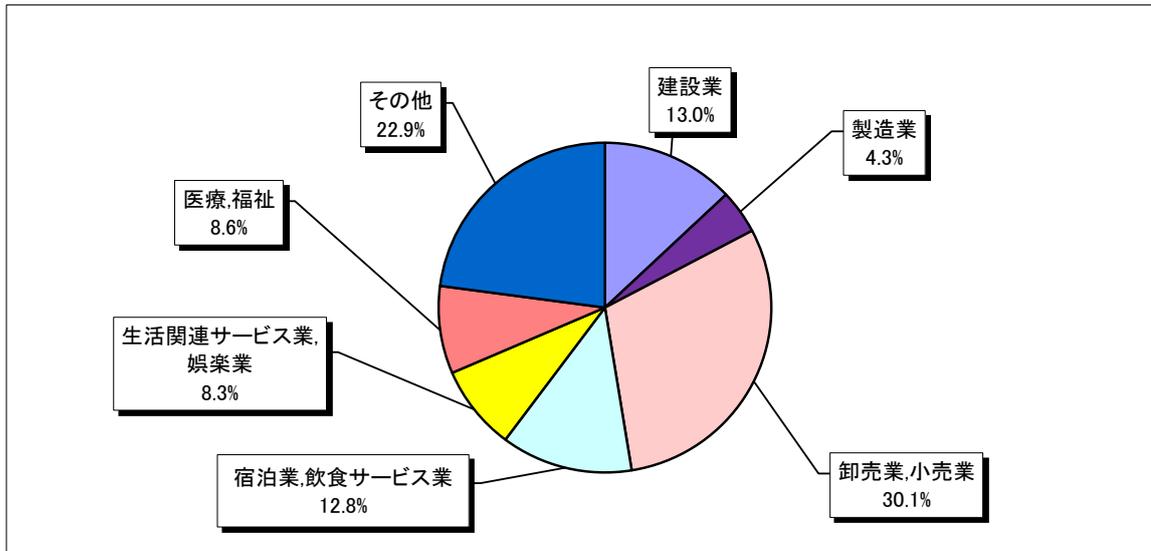


図6 常用労働者の産業別構成比（男）（事業所規模1～4人）青森県

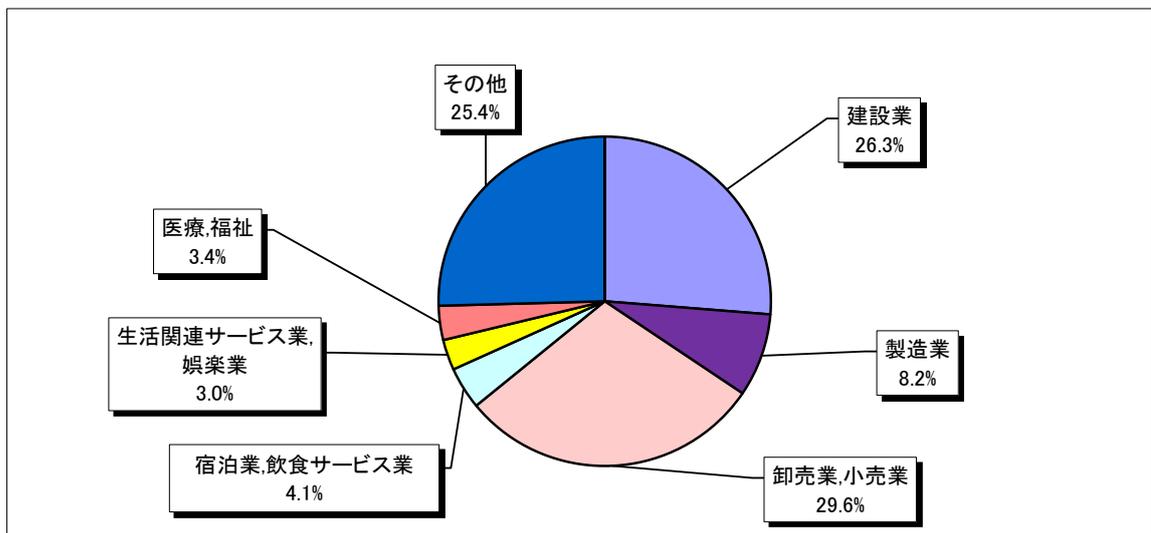


図7 常用労働者の産業別構成比（女）（事業所規模1～4人）青森県

